

第4章 最終処分場供用後に係る調査結果

第1節 大気質

第1項 調査概要

最終処分場の供用に伴う施設内の粉じんの状況を監視するため、調査を実施しました。

1-1 調査地点

調査地点は、図4-1-1に示したとおり最終処分場区域内の2地点としました。

1-2 調査項目及び調査時期

調査は浮遊粒子状物質（SPM）を対象項目とし、調査時期は表4-1-1に示したとおり、各季1日間（24時間）実施しました。

表4-1-1 調査項目及び調査期間

調査項目	調査年月日
浮遊粒子状物質（SPM）	平成25年 4月18日(0:00～24:00)
	平成25年 7月18日(0:00～24:00)
	平成25年10月 1日(0:00～24:00)
	平成26年 1月 9日(0:00～24:00)

1-3 調査方法

各項目の分析方法は表4-1-2に示したとおりです。

表4-1-2 調査項目及び分析方法

測定項目	分析方法
浮遊粒子状物質（SPM）	昭和48年環境庁告示第25号 別表に示す 線吸収法

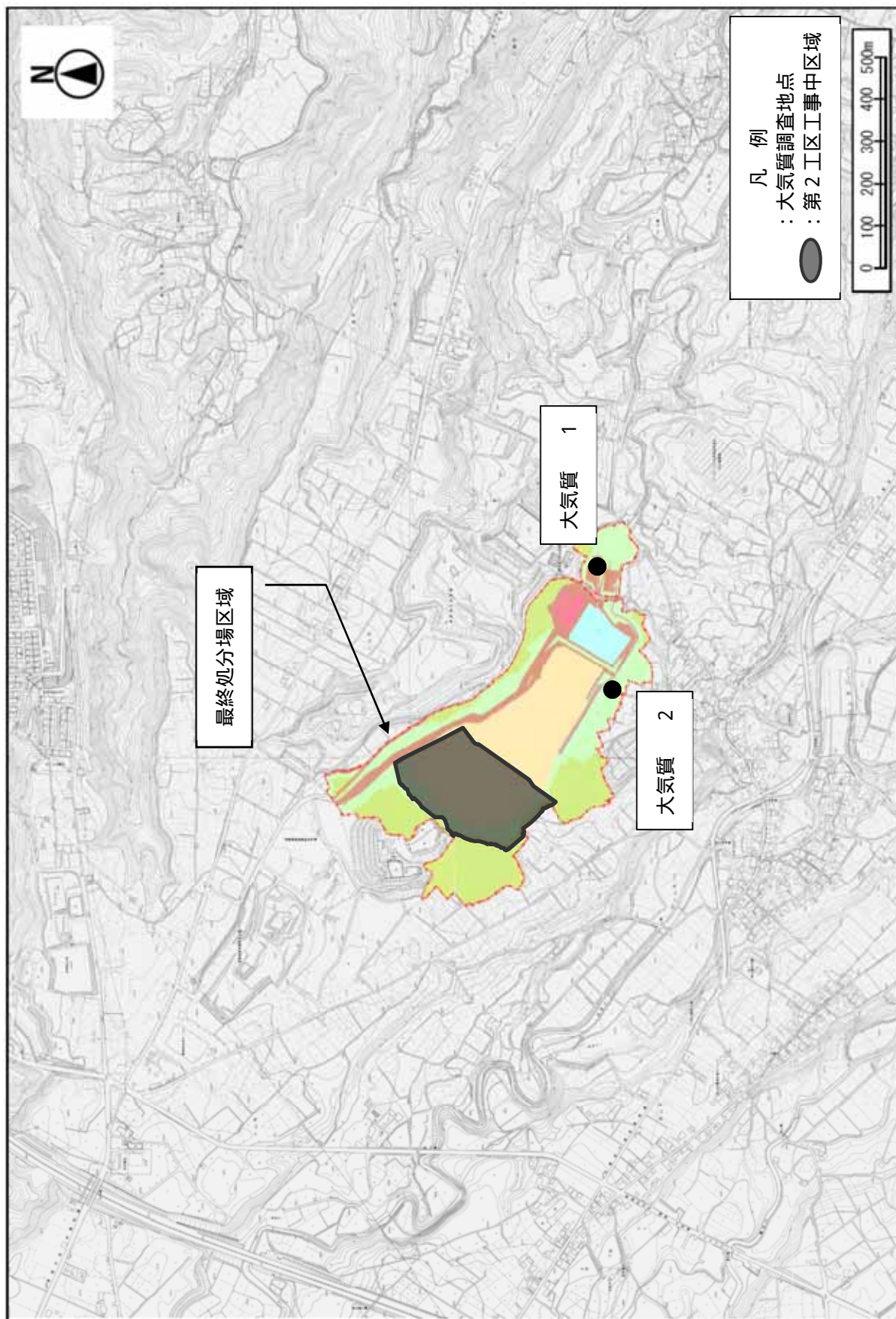


図4-1-1-1 大気質（浮遊粒子状物質）調査地点

第2項 調査結果

調査結果は表4 - 1 - 3に示したとおりです。

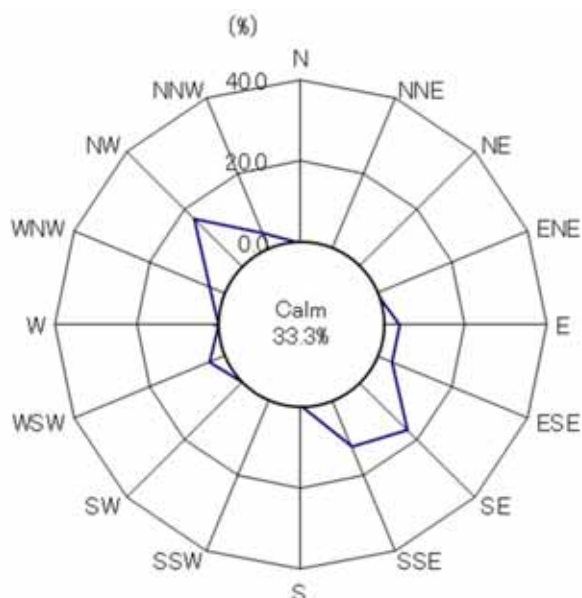
また、測定当日の風配図は図4 - 1 - 2に示したとおりです。

1の日平均値は0.003~0.023mg/m³、1時間値の最大値は0.010~0.054mg/m³、2の日平均値は0.005~0.026mg/m³、1時間値の最大値は0.012~0.058mg/m³であり、いずれも環境基準を下回る値でした。

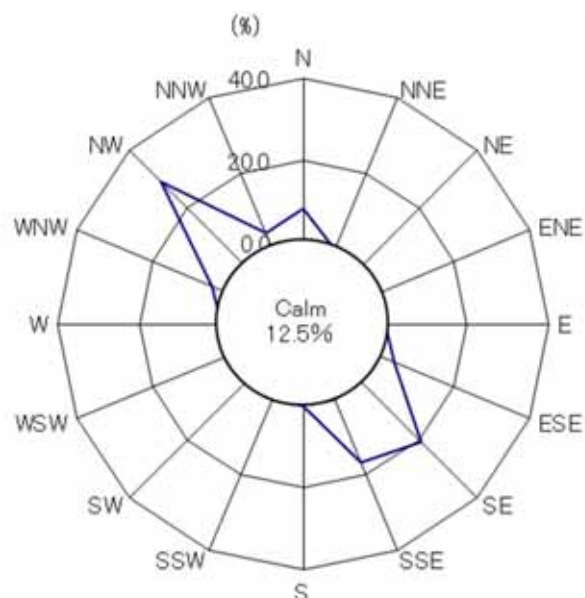
表4 - 1 - 3 浮遊粒子状物質調査結果

項 目		S P M (mg/m ³)	
環境基準	1時間値の 1日平均値	0.10 以下	
	1時間値	0.20 以下	
調査年月日	地点	1	2
平成 25 年 4 月 18 日	日平均値	0.011	0.026
	1時間値の最大値	0.026	0.050
平成 25 年 7 月 18 日	日平均値	0.023	0.020
	1時間値の最大値	0.054	0.058
平成 25 年 10 月 1 日	日平均値	0.013	0.015
	1時間値の最大値	0.033	0.034
平成 26 年 1 月 9 日	日平均値	0.003	0.005
	1時間値の最大値	0.010	0.012

環境基準：「大気の汚染に係る環境基準について」(昭和48年環告25)

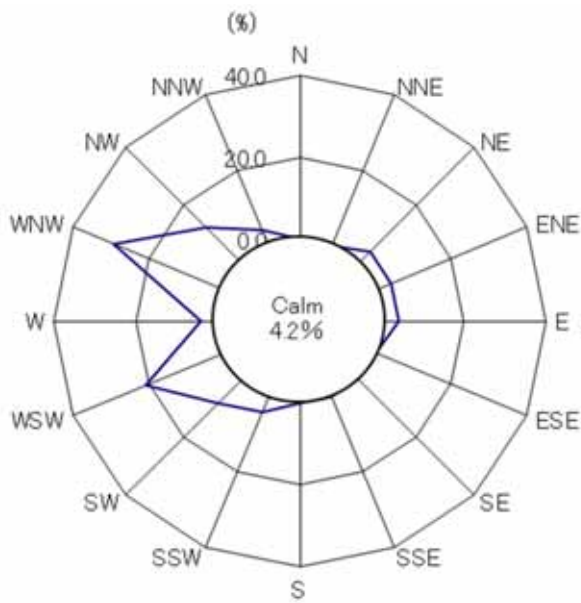


【 1 】

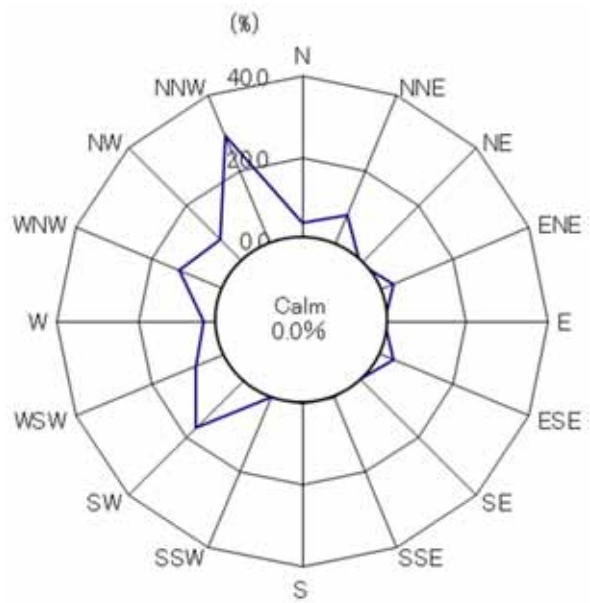


【 2 】

図4 - 1 - 2 (1) 測定当日の風配図 (平成25年4月18日)

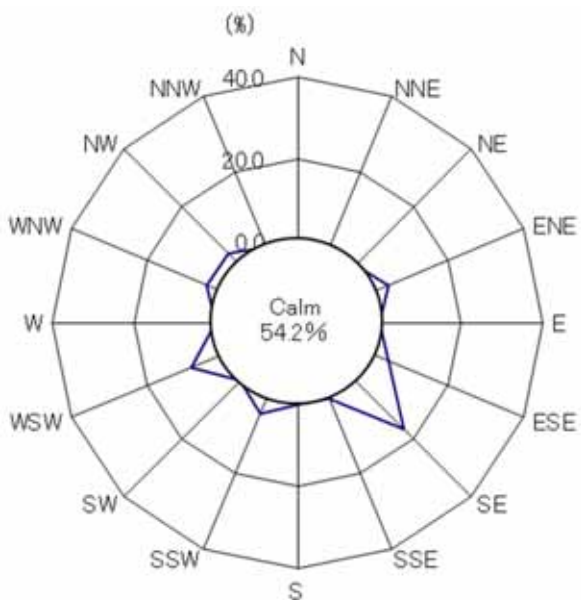


【 1 】

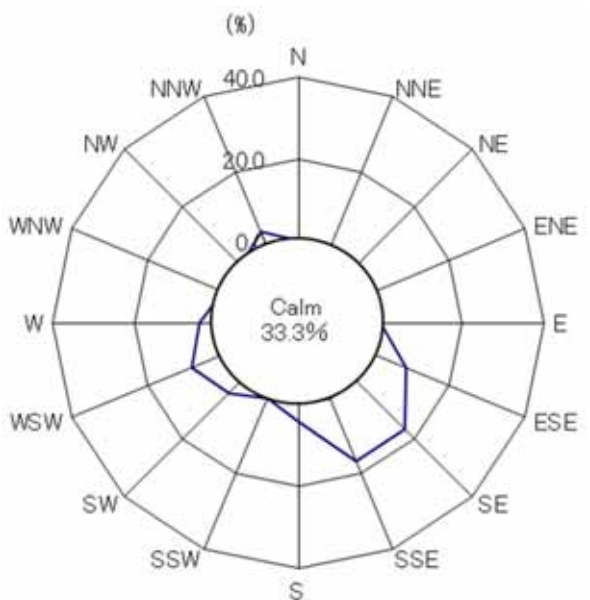


【 2 】

図 4 - 1 - 2 (2) 測定当日の風配図 (平成 25 年 7 月 18 日)

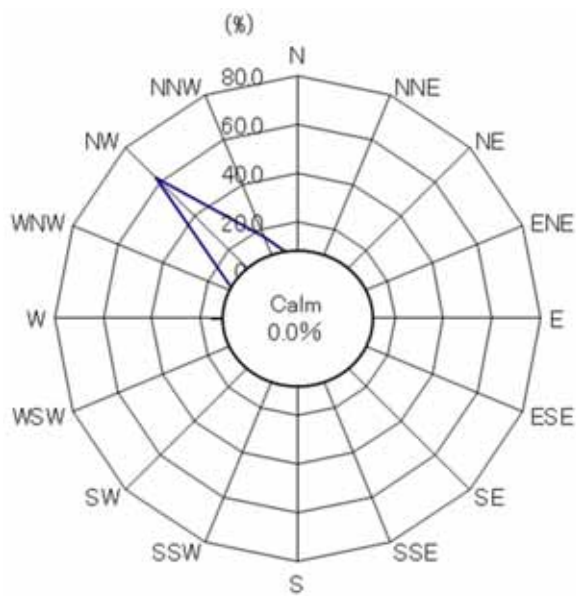


【 1 】

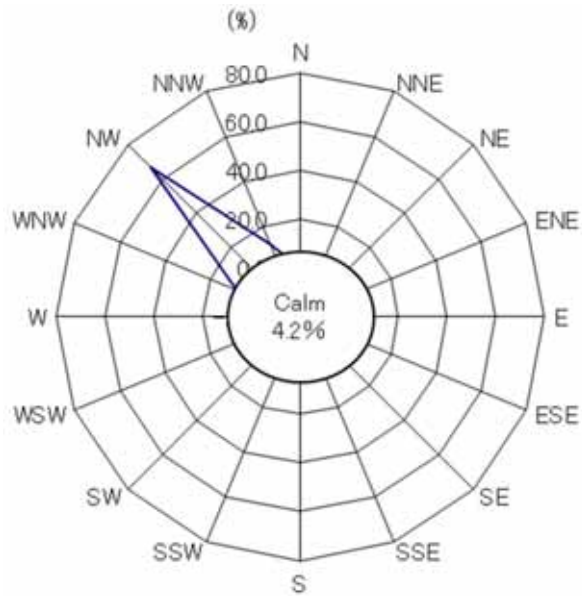


【 2 】

図 4 - 1 - 2 (3) 測定当日の風配図 (平成 25 年 10 月 1 日)



【 1 】



【 2 】

図 4 - 1 - 2 (4) 測定当日の風配図 (平成 26 年 1 月 9 日)

第2節 悪 臭

第1項 調査概要

最終処分場の供用に伴い、同施設からの悪臭が周辺環境に与える影響を把握するため、調査を実施しました。

1 - 1 調査時期

調査は表4 - 2 - 1に示したとおり、春季から冬季にかけて4回実施しました。

表4 - 2 - 1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 25 年 5 月 28 日
夏 季	平成 25 年 7 月 11 日
秋 季	平成 25 年 10 月 18 日
冬 季	平成 26 年 1 月 20 日

1 - 2 調査地点

調査地点は図4 - 2 - 1に示した最終処分場敷地境界に予め設定した3地点で調査を実施しました。

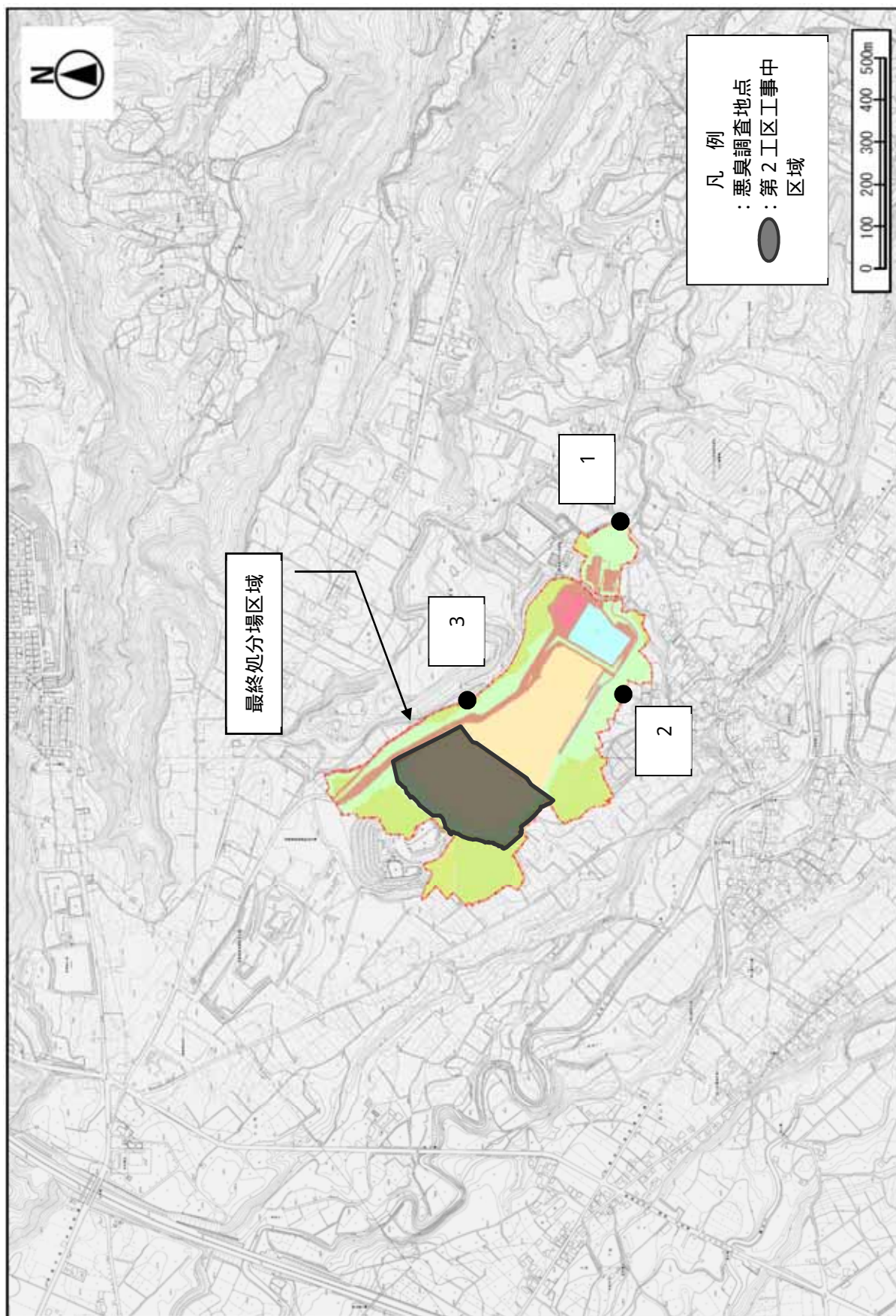


図 4 - 2 - 1 悪臭調査地点

1 - 3 調査項目及び分析方法

調査項目は悪臭防止法に定める特定悪臭物質（22 物質）、臭気指数及び気象とし、分析方法は表 4 - 2 - 2 に示したとおりです。

表 4 - 2 - 2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
アンモニア		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 1
メチルメルカプタン 硫化水素 硫化メチル 二硫化メチル		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 2
トリメチルアミン		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 3
アセトアルデヒド プロピオンアルデヒド ノルマルブチルアルデヒド イソブチルアルデヒド ノルマルバレルアルデヒド イソバレルアルデヒド		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 4 の 1
イソブタノール		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 5
酢酸エチル メチルイソブチルケトン		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 6 の 2
トルエン スチレン キシレン		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 7 の 2
プロピオン酸 ノルマル酪酸 ノルマル吉草酸 イソ吉草酸		昭和47年環境庁告示第 9 号別表第 8
臭気指数		平成 7 年環境庁告示第63号
気 象	風 向	ビラム型風向風速計
	風 速	
	気 温	アスマン通風乾湿計
	湿 度	

第2項 調査結果

調査結果は表4 - 2 - 3に示したとおり、悪臭防止法に定める特定悪臭物質は検出されませんでした。

また、人の嗅覚により試験を行う臭気指数についても、各季とも全ての調査地点で10未満でした。

表4 - 2 - 3 (1) 悪臭調査結果 (春季)

項 目	単 位	春季			排出規制基準
		1	2	3	
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルカルバダイン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
プロピオンアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルペンチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソペンチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	ppm	<1	<1	<1	10以下
スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数		<10	<10	<10	
気 象	天 候		曇	曇	曇
	気 温		21.3	20.9	20.4
	湿 度	%	64	67	74
	風 向		Calm	S	S
	風 速	m / s	<0.5	1.0	0.8

：「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準（平成10年7月10日三重県告示第323号）

表4 - 2 - 3 (2) 悪臭調査結果 (夏季)

項 目	単 位	夏季			排出規制基準
		1	2	3	
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ブロピオンアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	ppm	<1	<1	<1	10以下
スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数		<10	<10	<10	
気 象	天 候		晴	晴	晴
	気 温		37.9	34.4	37.0
	湿 度	%	46	55	57
	風 向		WNW	WSW	Calm
	風 速	m / s	0.7	1.3	<0.5

：「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準（平成10年7月10日三重県告示第323号）

表4 - 2 - 3 (3) 悪臭調査結果 (秋季)

項 目	単 位	秋季			排出規制基準
		1	2	3	
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ブロピオンアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	ppm	<1	<1	<1	10以下
スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数		<10	<10	<10	
気 象	天 候		曇	曇	曇
	気 温		18.9	18.9	19.2
	湿 度	%	44	43	42
	風 向		NE	NNE	ENE
	風 速	m / s	0.5	1.0	0.6

：「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準（平成10年7月10日三重県告示第323号）

表 4 - 2 - 3 (4) 悪臭調査結果 (冬季)

項 目	単 位	冬季			排出規制基準
		1	2	3	
アンモニア	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
メチルメルカプタン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009 以下
トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005 以下
アセトアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05 以下
プロピオンアルデヒド	ppm	<0.01	<0.01	<0.01	0.05 以下
ノルマルブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009 以下
イソブチルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ノルマルヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.009 以下
イソヘキシルアルデヒド	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	0.003 以下
イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	0.9 以下
酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	3 以下
メチルイソブチルケトン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
トルエン	ppm	<1	<1	<1	10 以下
スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	0.4 以下
キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	0.03 以下
ノルマル酪酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001 以下
ノルマル吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009 以下
イソ吉草酸	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001 以下
臭気指数		<10	<10	<10	
気 象	天 候		晴	晴	晴
	気 温		4.6	6.6	6.0
	湿 度	%	42	39	42
	風 向		WNW	WNW	NW
	風 速	m / s	2.4	1.4	2.1

: 「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準 (平成 10 年 7 月 10 日三重県告示第 323 号)

第3節 環境騒音

第1項 調査概要

最終処分場の供用に伴う騒音の影響を把握するため、最終処分場区域周辺で環境騒音の調査を実施しました。

1 - 1 調査時期

調査は表4 - 3 - 1に示したとおり、春季から冬季にかけて4回実施しました。

また、測定時間は24時間測定としました。

表4 - 3 - 1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 25 年 5 月 27 日 ~ 28 日
夏 季	平成 25 年 7 月 22 日 ~ 23 日
秋 季	平成 25 年 10 月 21 日 ~ 22 日
冬 季	平成 26 年 1 月 16 日 ~ 17 日

1 - 2 調査地点

調査地点は図4 - 3 - 1に示した最終処分場区域周辺の2地点としました。

1 - 3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境騒音とし、調査方法は「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 環境庁告示第 64 号)に準じて実施しました。

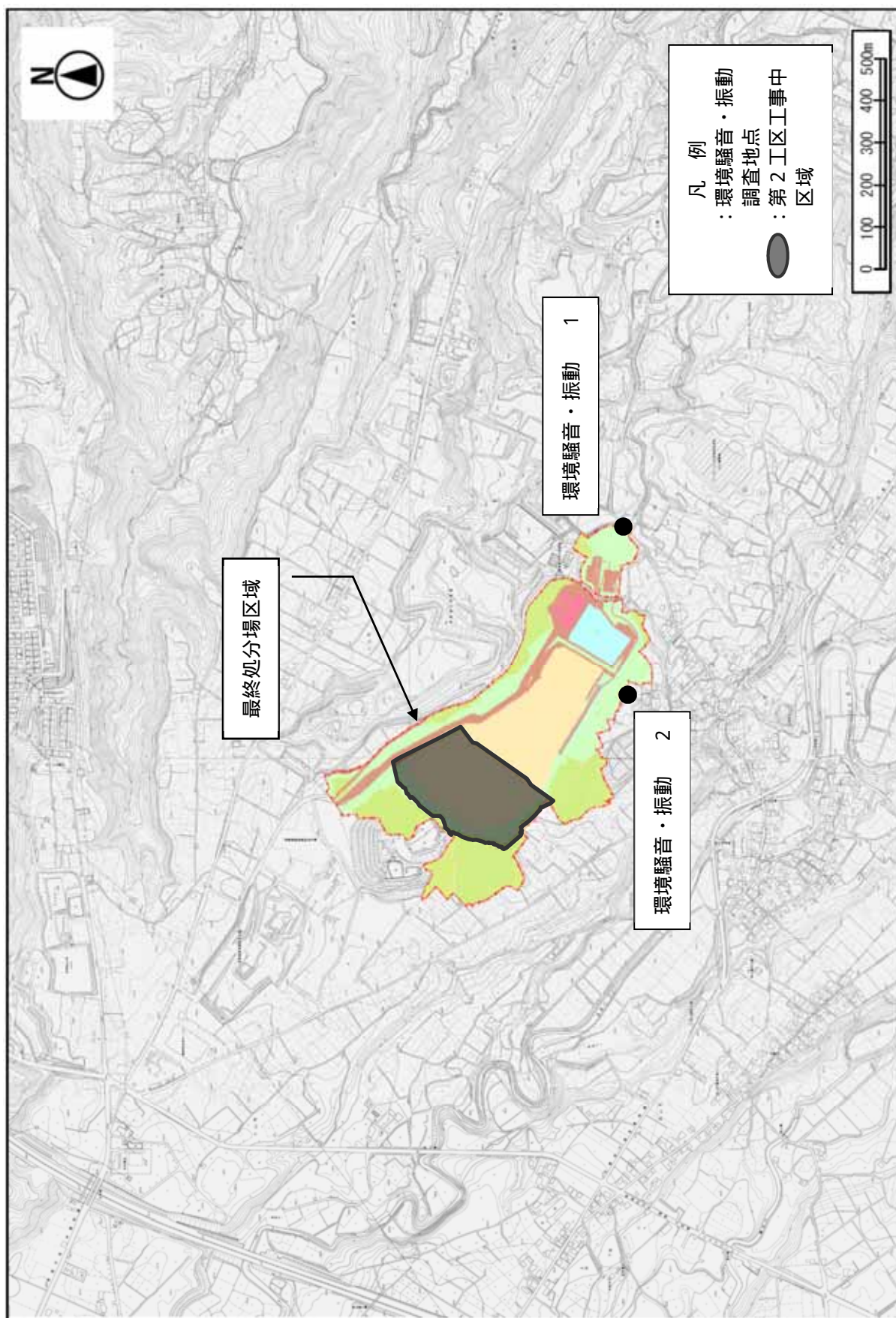


図 4 - 3 - 1 環境騒音・環境振動調査地点

第2項 調査結果

調査結果は表4 - 3 - 2に示したとおりであり、1の6時から22時までの昼間の基準時間帯における平均等価騒音レベルは46～59dB、22時から6時までの夜間の基準時間帯における等価騒音レベルは41～55dB、同じく2の昼間の等価騒音レベルは42～51dB、夜間の等価騒音レベルは37～59dBでした。

春季の2夜間及び夏季の1昼間でやや高い値がみられましたが、春季の2はカエルの鳴き声、夏季の1はセミの鳴き声の影響によるものでした。

表4 - 3 - 2 (1) 環境騒音調査結果 (春季)

時 季	測定時間	地点 単位	1		2	
			L _{Aeq-1h}	L ₅₀	L _{Aeq-1h}	L ₅₀
春 季	12 : 00 ~	dB (A)	47	43	40	38
	13 : 00 ~		46	43	46	44
	14 : 00 ~		46	42	45	43
	15 : 00 ~		47	41	47	46
	16 : 00 ~		46	42	49	46
	17 : 00 ~		52	51	41	37
	18 : 00 ~		54	54	40	36
	19 : 00 ~		55	55	51	43
	20 : 00 ~		55	55	58	57
	21 : 00 ~		55	55	59	59
	22 : 00 ~		55	55	61	62
	23 : 00 ~		54	53	62	62
	0 : 00 ~		52	51	62	62
	1 : 00 ~		50	49	59	59
	2 : 00 ~		44	43	58	57
	3 : 00 ~		43	41	56	54
	4 : 00 ~		47	42	46	37
	5 : 00 ~		45	43	38	35
	6 : 00 ~		47	43	40	37
	7 : 00 ~		47	44	38	37
	8 : 00 ~		46	44	42	40
	9 : 00 ~		46	44	44	42
	10 : 00 ~		49	44	43	41
	11 : 00 ~		48	43	43	41
	昼 間		51	46	51	43
	夜 間		51	47	59	53

注： は参考値（現在、環境基準はL_{Aeq}で評価するため、L₅₀は参考値として示した。）

表 4 - 3 - 2 (2) 環境騒音調査結果 (夏季)

時 季	測定時間	地点 単位	1		2	
			L _{Aeq-1h}	L ₅₀	L _{Aeq-1h}	L ₅₀
夏 季	12 : 00 ~	dB(A)	59	59	39	38
	13 : 00 ~		59	59	43	42
	14 : 00 ~		59	58	42	41
	15 : 00 ~		59	59	44	43
	16 : 00 ~		58	56	44	42
	17 : 00 ~		56	55	41	40
	18 : 00 ~		54	52	45	44
	19 : 00 ~		45	43	44	43
	20 : 00 ~		45	44	46	45
	21 : 00 ~		44	43	46	45
	22 : 00 ~		44	42	47	45
	23 : 00 ~		45	43	48	45
	0 : 00 ~		48	47	50	45
	1 : 00 ~		49	49	51	46
	2 : 00 ~		50	50	48	46
	3 : 00 ~		46	45	46	45
	4 : 00 ~		43	42	45	45
	5 : 00 ~		63	63	44	44
	6 : 00 ~		63	63	43	42
	7 : 00 ~		62	62	43	42
	8 : 00 ~		62	62	47	45
	9 : 00 ~		60	60	48	46
	10 : 00 ~		58	56	46	44
	11 : 00 ~		57	54	45	43
	昼 間		59	55	45	43
	夜 間		55	48	48	45

注： は参考値（現在、環境基準はL_{Aeq}で評価するため、L₅₀は参考値として示した。）

表 4 - 3 - 2 (3) 環境騒音調査結果 (秋季)

時 季	測定時間	地点 単位	1		2	
			L _{Aeq-1h}	L ₅₀	L _{Aeq-1h}	L ₅₀
秋 季	12 : 00 ~	dB(A)	47	45	39	38
	13 : 00 ~		48	46	47	45
	14 : 00 ~		47	46	46	45
	15 : 00 ~		48	45	45	43
	16 : 00 ~		47	45	42	41
	17 : 00 ~		48	46	41	40
	18 : 00 ~		49	49	41	41
	19 : 00 ~		47	46	40	40
	20 : 00 ~		46	45	39	39
	21 : 00 ~		45	45	41	40
	22 : 00 ~		45	45	38	38
	23 : 00 ~		45	44	37	37
	0 : 00 ~		45	45	37	37
	1 : 00 ~		44	44	38	37
	2 : 00 ~		45	45	39	38
	3 : 00 ~		45	45	38	38
	4 : 00 ~		45	45	38	38
	5 : 00 ~		44	44	39	38
	6 : 00 ~		46	45	39	39
	7 : 00 ~		46	44	41	40
	8 : 00 ~		47	44	41	40
	9 : 00 ~		47	44	40	39
	10 : 00 ~		47	44	42	40
	11 : 00 ~		49	45	43	40
	昼 間		47	45	42	40
	夜 間		45	44	38	38

注： は参考値（現在、環境基準はL_{Aeq}で評価するため、L₅₀は参考値として示した。）

表 4 - 3 - 2 (4) 環境騒音調査結果 (冬季)

時 季	測定時間	地点 単位	1		2	
			L _{Aeq-1h}	L ₅₀	L _{Aeq-1h}	L ₅₀
冬 季	12 : 00 ~	dB(A)	46	42	45	41
	13 : 00 ~		47	45	47	45
	14 : 00 ~		47	44	48	45
	15 : 00 ~		46	42	46	44
	16 : 00 ~		47	42	42	40
	17 : 00 ~		47	41	37	36
	18 : 00 ~		43	41	37	37
	19 : 00 ~		45	41	38	37
	20 : 00 ~		41	41	38	37
	21 : 00 ~		43	40	37	36
	22 : 00 ~		43	43	38	38
	23 : 00 ~		42	42	38	38
	0 : 00 ~		41	41	38	37
	1 : 00 ~		39	39	36	35
	2 : 00 ~		40	40	38	38
	3 : 00 ~		41	41	38	37
	4 : 00 ~		39	38	37	36
	5 : 00 ~		40	40	35	35
	6 : 00 ~		46	41	38	36
	7 : 00 ~		45	43	40	39
	8 : 00 ~		47	43	44	42
	9 : 00 ~		46	43	47	45
	10 : 00 ~		46	44	48	45
	11 : 00 ~		47	45	49	47
	昼 間		46	42	45	41
	夜 間		41	41	37	37

注 : は参考値 (現在、環境基準は L_{Aeq} で評価するため、L₅₀ は参考値として示した。)

第4節 環境振動

第1項 調査概要

最終処分場の供用に伴う振動の影響を把握するため、最終処分場区域周辺で環境振動の調査を実施しました。

1 - 1 調査時期

調査は表4 - 4 - 1に示したとおり、春季から冬季にかけて4回実施しました。

また、測定時間は24時間測定としました。

表4 - 4 - 1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 25 年 5 月 27 日 ~ 28 日
夏 季	平成 25 年 7 月 22 日 ~ 23 日
秋 季	平成 25 年 10 月 21 日 ~ 22 日
冬 季	平成 26 年 1 月 16 日 ~ 17 日

1 - 2 調査地点

調査地点は前掲の図4 - 3 - 1に示したとおり、最終処分場区域周辺の2地点としました。

1 - 3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境振動とし、調査方法は「JIS Z 8735 - 1981」により実施しました。

第2項 調査結果

振動レベルの調査結果は表4 - 4 - 2に示したとおり、春季の 1 で測定機器の保証最低値（30dB）未満、 2 で 30dB 未満～36dB、夏季から冬季は 1、 2 とともに、いずれの時間帯も 30dB 未満でした。

表 4 - 4 - 2 環境振動調査結果

単位 : dB(Z)

時 季	地点 測定時間	No. 1	No. 2	時 季	地点 測定時間	No. 1	No. 2
		L ₁₀				L ₁₀	
春 季	12 : 00 ~	30未満	30未満	秋 季	12 : 00 ~	30未満	30未満
	13 : 00 ~	30未満	30		13 : 00 ~	30未満	30未満
	14 : 00 ~	30未満	36		14 : 00 ~	30未満	30未満
	15 : 00 ~	30未満	33		15 : 00 ~	30未満	30未満
	16 : 00 ~	30未満	30未満		16 : 00 ~	30未満	30未満
	17 : 00 ~	30未満	30未満		17 : 00 ~	30未満	30未満
	18 : 00 ~	30未満	30未満		18 : 00 ~	30未満	30未満
	19 : 00 ~	30未満	30未満		19 : 00 ~	30未満	30未満
	20 : 00 ~	30未満	30未満		20 : 00 ~	30未満	30未満
	21 : 00 ~	30未満	30未満		21 : 00 ~	30未満	30未満
	22 : 00 ~	30未満	30未満		22 : 00 ~	30未満	30未満
	23 : 00 ~	30未満	30未満		23 : 00 ~	30未満	30未満
	0 : 00 ~	30未満	30未満		0 : 00 ~	30未満	30未満
	1 : 00 ~	30未満	30未満		1 : 00 ~	30未満	30未満
	2 : 00 ~	30未満	30未満		2 : 00 ~	30未満	30未満
	3 : 00 ~	30未満	30未満		3 : 00 ~	30未満	30未満
	4 : 00 ~	30未満	30未満		4 : 00 ~	30未満	30未満
	5 : 00 ~	30未満	30未満		5 : 00 ~	30未満	30未満
	6 : 00 ~	30未満	30未満		6 : 00 ~	30未満	30未満
	7 : 00 ~	30未満	30未満		7 : 00 ~	30未満	30未満
	8 : 00 ~	30未満	30未満		8 : 00 ~	30未満	30未満
	9 : 00 ~	30未満	30未満		9 : 00 ~	30未満	30未満
	10 : 00 ~	30未満	30		10 : 00 ~	30未満	30未満
	11 : 00 ~	30未満	30		11 : 00 ~	30未満	30未満
夏 季	12 : 00 ~	30未満	30未満	冬 季	12 : 00 ~	30未満	30未満
	13 : 00 ~	30未満	30未満		13 : 00 ~	30未満	30未満
	14 : 00 ~	30未満	30未満		14 : 00 ~	30未満	30未満
	15 : 00 ~	30未満	30未満		15 : 00 ~	30未満	30未満
	16 : 00 ~	30未満	30未満		16 : 00 ~	30未満	30未満
	17 : 00 ~	30未満	30未満		17 : 00 ~	30未満	30未満
	18 : 00 ~	30未満	30未満		18 : 00 ~	30未満	30未満
	19 : 00 ~	30未満	30未満		19 : 00 ~	30未満	30未満
	20 : 00 ~	30未満	30未満		20 : 00 ~	30未満	30未満
	21 : 00 ~	30未満	30未満		21 : 00 ~	30未満	30未満
	22 : 00 ~	30未満	30未満		22 : 00 ~	30未満	30未満
	23 : 00 ~	30未満	30未満		23 : 00 ~	30未満	30未満
	0 : 00 ~	30未満	30未満		0 : 00 ~	30未満	30未満
	1 : 00 ~	30未満	30未満		1 : 00 ~	30未満	30未満
	2 : 00 ~	30未満	30未満		2 : 00 ~	30未満	30未満
	3 : 00 ~	30未満	30未満		3 : 00 ~	30未満	30未満
	4 : 00 ~	30未満	30未満		4 : 00 ~	30未満	30未満
	5 : 00 ~	30未満	30未満		5 : 00 ~	30未満	30未満
	6 : 00 ~	30未満	30未満		6 : 00 ~	30未満	30未満
	7 : 00 ~	30未満	30未満		7 : 00 ~	30未満	30未満
	8 : 00 ~	30未満	30未満		8 : 00 ~	30未満	30未満
	9 : 00 ~	30未満	30未満		9 : 00 ~	30未満	30未満
	10 : 00 ~	30未満	30未満		10 : 00 ~	30未満	30未満
	11 : 00 ~	30未満	30未満		11 : 00 ~	30未満	30未満

注 : 調査地点は前掲の図 4 - 2 - 1 参照

第5節 河川水の水質

第1項 調査概要

最終処分場区域を流域に含む天白川の水質の状況を把握するため、調査を実施しました。

1 - 1 調査地点

調査地点は図4 - 5 - 1に示したとおり、最終処分場処理水の放流河川である天白川において4地点（1～4）を設定しました。

1 - 2 調査時期

調査のうち、生活環境項目等については1、2、4で4月から3月まで毎月1回の計12回、3で各季1回の計4回実施しました。健康項目等については1、2、4で各季1回の計4回実施しました。

また、環境ホルモンのうち、ダイオキシン類については1、2、3、4で夏季・冬季に1回、その他の項目は1、2、4で冬季に1回実施しました。

調査年月日・調査項目及び調査地点は表4 - 5 - 1に示したとおりです。

表4 - 5 - 1 調査年月日・調査項目及び調査地点

調査年月日	調査項目			
	生活環境項目等	健康項目等	環境ホルモン	
			ダイオキシン類	その他の項目
平成25年 4月16日	1、2、4	1、2、4	-	-
5月15日	1、2、3、4	-	-	-
6月4日	1、2、4	-	-	-
7月12日	1、2、4	1、2、4	1、2、3、4	-
8月7日	1、2、3、4	-	-	-
9月11日	1、2、4	-	-	-
10月4日	1、2、4	1、2、4	-	-
11月5日	1、2、3、4	-	-	-
12月9日	1、2、4	-	-	-
平成26年 1月16日	1、2、4	1、2、4	1、2、3、4	1、2、4
2月5日	1、2、3、4	-	-	-
3月4日	1、2、4	-	-	-

6月No.4のみ6月11日に実施

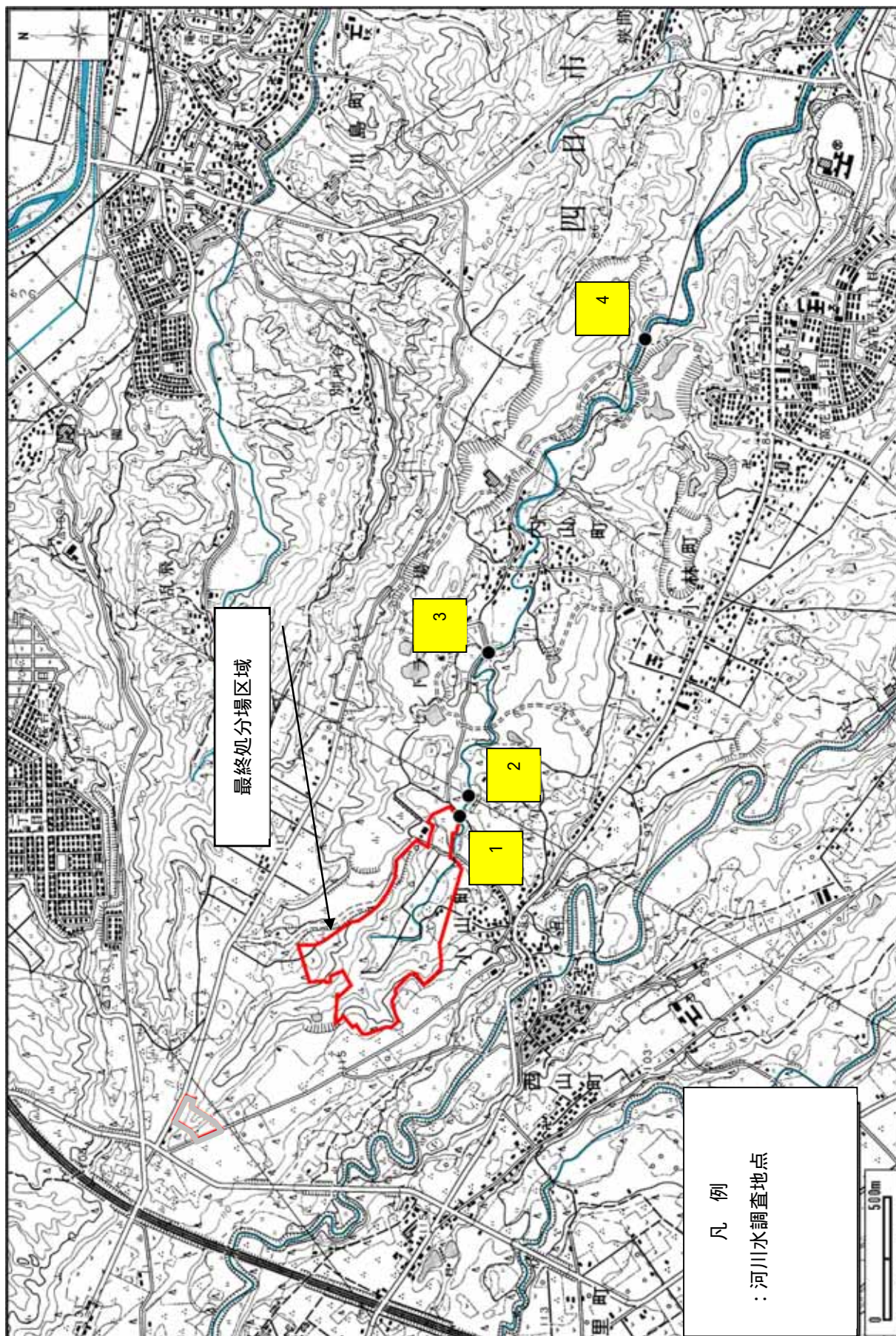


图 4 - 5 - 1 河川水調査地点

1 - 3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、気温、水温、流量の他、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）等の生活環境項目等6項目、カドミウム、鉛等の健康項目等15項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン8項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表4 - 5 - 2に示したとおりです。

表4 - 5 - 2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
外 観		JIS K 0102 8
気 温		JIS K 0102 7.1
水 温		JIS K 0102 7.2
流 量		JIS K 0094 8
生活環境項目等	水素イオン濃度(pH) 生物化学的酸素要求量(BOD) 化学的酸素要求量(COD) 浮遊物質(SS) 全窒素(T-N) 全 磷(T-P)	JIS K 0102 12.1 JIS K 0102 21 及び 32.3 JIS K 0102 17 昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9 JIS K 0102 45.4 JIS K 0102 46.3
健康項目等	カドミウム 鉛 砒 素 フェノール類 銅 亜 鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン クロム含有量 ふっ素 n - ヘキサン抽出物質 大腸菌群数(MPN) 1,4-ジオキサン 硫酸イオン 硬度	JIS K 0102 55.4 JIS K 0102 54.3 JIS K 0102 61.3 JIS K 0102 28.1 JIS K 0102 52.4 JIS K 0102 53.3 JIS K 0102 57.4 JIS K 0102 56.4 JIS K 0102 65.1.4 昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6 昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 13 昭和 46 年環境庁告示第 59 号別表 2 昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7 JIS K 0102 41.3 JIS K 0101 15.1
環境ホルモン	ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示第 68 号
	ビスフェノールA フタル酸ジ -2-エチルヘキシル フタル酸ジ -n-ブチル フタル酸ジフェニル フタル酸ジシクロヘキシル フタル酸ジエチル アジピン酸ジ -2-エチルヘキシル	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」(平成 10 年 10 月)に準拠

第2項 調査結果

調査結果は表4 - 5 - 3に示したとおりです。

2 - 1 生活環境項目等、健康項目等

生活環境項目等のうち、pHは 1で7.7~8.6、 2で7.6~8.5、 3で7.7~8.5、 4で7.5~8.3、BODは 1で<0.5~1.4mg/ℓ、 2で0.6~2.4mg/ℓ、 3で0.5~1.2mg/ℓ、 4で0.5~1.5mg/ℓ、CODは 1で0.6~2.5mg/ℓ、 2で2.2~5.7mg/ℓ、 3で2.1~3.6mg/ℓ、 4で2.4~4.1mg/ℓ、SSは 1で<1.0~1.9mg/ℓ、 2で<1.0~3.6mg/ℓ、 3で<1.0~2.8mg/ℓ、 4で1.0~5.0mg/ℓ、T-Nは 1で7.2~12mg/ℓ、 2で9.0~12mg/ℓ、 3で8.3~11mg/ℓ、 4で4.9~8.1mg/ℓ、T-Pは 1で0.008~0.087mg/ℓ、 2で0.010~0.10mg/ℓ、 3で0.019~0.091mg/ℓ、 4で0.028~0.063mg/ℓの範囲でした。

また、健康項目等のうち、 1で検出された項目は、溶解性鉄が<0.01~0.03mg/ℓ、溶解性マンガンが<0.01~0.51mg/ℓ、ふっ素が0.12~0.48mg/ℓ、大腸菌群数が350~1,100MPN/100ml、硫酸イオンが180~390mg/ℓ、硬度が220~370mg/ℓ、 2では、溶解性鉄が0.02~0.04mg/ℓ、溶解性マンガンが<0.01~0.04mg/ℓ、ふっ素が0.14~0.38mg/ℓ、大腸菌群数が45~1,600MPN/100ml、硫酸イオンが140~290mg/ℓ、硬度が220~340mg/ℓ、 4では、溶解性鉄が0.05~0.10mg/ℓ、溶解性マンガンが0.05~0.12mg/ℓ、ふっ素が0.12~0.19mg/ℓ、大腸菌群数が49~2,200MPN/100ml、硫酸イオンが97~170mg/ℓ、硬度が140~200mg/ℓであり、その他の項目は全て定量下限値未満でした。

天白川には、河川の環境基準の類型指定はありませんが、農業用水として利水されていることから、図4 - 5 - 2 ~ 4に示したとおり主な項目について農業用水基準と比較すると、pHでは、

1で全12回が、 2で全12回が、 3で全4回が、 4で12回中11回が、T-Nでは4地点とも全ての調査月において、それぞれ農業用水基準を上回る状況でした。

その他の項目については、全て同基準を満足していました。

表 4 - 5 - 3 (1) 水質調査結果 (1)

項目名		単位	4月16日	5月15日	6月4日	7月12日	8月7日	9月11日	10月4日	11月5日	12月9日	1月16日	2月5日	3月4日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温			21.0	23.0	26.7	36.6	35.7	30.2	26.0	19.0	11.5	10.5	1.0	7.5	
水温			17.2	21.0	18.5	24.6	24.4	22.7	20.0	17.0	12.6	9.5	9.5	11.0	
流量		m ³ /分	1.3	1.6	2.1	2.0	1.9	2.9	1.9	2.5	1.8	1.7	1.5	1.6	
生活環境項目等	p H		7.9	8.5	8.6	8.0	8.0	7.9	8.5	7.7	7.8	8.1	7.8	7.8	6.0～7.5
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	0.5	0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	1.4	1.1	0.8	
	C O D	mg-O/ℓ	0.6	1.9	1.2	2.5	2.0	1.3	2.5	1.9	2.3	2.0	1.6	1.7	6ppm以下
	S S	mg/ℓ	<1.0	1.0	1.9	<1.0	1.4	1.6	<1.0	1.0	<1.0	1.2	<1.0	1.1	100ppm以下
	全窒素	mg-N/ℓ	7.2	9.1	8.8	8.1	8.9	7.5	8.4	7.7	8.5	12	9.5	9.2	1ppm以下
健康項目等	全燐	mg-P/ℓ	0.043	0.032	0.045	0.072	0.036	0.043	0.041	0.032	0.008	0.021	0.087	0.017	
	カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	
	鉛	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	砒素	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	
	銅	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/ℓ	0.02	-	-	0.01	-	-	<0.01	-	-	0.03	-	-	
	溶解性マンガン	mg/ℓ	0.04	-	-	<0.01	-	-	0.02	-	-	0.51	-	-	
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	
	ふっ素	mg/ℓ	0.26	-	-	0.31	-	-	0.48	-	-	0.12	-	-	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	
	大腸菌群数 (MPN)	MPN/100ml	540	-	-	920	-	-	1100	-	-	350	-	-	
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	硫酸イオン	mg/ℓ	260	-	-	290	-	-	390	-	-	180	-	-	
	硬度	mg/ℓ	220	-	-	290	-	-	370	-	-	220	-	-	

注：表中の「 - 」は調査を実施していないことを示す。

表 4 - 5 - 3 (2) 水質調査結果 (2)

項目名		単位	4月16日	5月15日	6月4日	7月12日	8月7日	9月11日	10月4日	11月5日	12月9日	1月16日	2月5日	3月4日	農業用水基準
外観			微混濁	淡白色	淡白色	淡黄色	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温			21.0	23.0	26.7	37.0	35.7	30.0	26.0	19.0	11.5	10.0	1.0	7.5	
水温			17.9	22.5	19.8	26.1	24.6	22.8	20.5	17.0	12.5	9.1	9.0	10.5	
流量		m ³ /分	2.3	2.4	2.4	2.6	2.8	3.7	2.5	2.9	2.1	2.3	2.4	1.9	
生活環境項目等	p H		8.1	8.4	8.5	8.1	8.0	8.0	8.3	7.8	7.7	7.6	7.7	7.8	6.0～7.5
	B O D	mg-O/ℓ	1.3	1.4	1.1	0.7	0.6	0.7	2.4	0.7	0.8	1.0	1.0	1.0	
	C O D	mg-O/ℓ	2.4	3.4	2.5	2.9	2.9	2.4	5.7	4.5	3.2	3.3	2.2	2.2	6ppm以下
	S S	mg/ℓ	2.4	3.6	3.5	1.7	2.5	<1.0	<1.0	1.1	<1.0	1.1	<1.0	1.3	100ppm以下
	全窒素	mg-N/ℓ	9.5	11	10	9.4	9.6	9.0	12	9.6	11	12	10	11	1ppm以下
	全燐	mg-P/ℓ	0.083	0.10	0.082	0.084	0.053	0.040	0.042	0.040	0.010	0.023	0.015	0.020	
健康項目等	カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	
	鉛	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	砒素	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	
	銅	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/ℓ	0.04	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	0.03	-	-	
	溶解性マンガン	mg/ℓ	0.04	-	-	<0.01	-	-	0.03	-	-	0.04	-	-	
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	
	ふっ素	mg/ℓ	0.23	-	-	0.27	-	-	0.38	-	-	0.14	-	-	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	
	大腸菌群数 (MPN)	MPN/100ml	920	-	-	45	-	-	1300	-	-	1600	-	-	
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	硫酸イオン	mg/ℓ	180	-	-	230	-	-	290	-	-	140	-	-	
	硬度	mg/ℓ	220	-	-	240	-	-	340	-	-	220	-	-	

注：表中の「 - 」は調査を実施していないことを示す。

表 4 - 5 - 3 (3) 水質調査結果 (3)

項目名		単位	5月15日	8月7日	11月5日	2月5日	農業用水基準
外観			殆ど透明	淡黄色	殆ど透明	殆ど透明	
気温			22.0	37.0	22.0	3.5	
水温			21.8	26.6	17.2	7.7	
流量		m ³ /分	3.8	3.1	3.6	2.9	
生活環境項目等	p H		8.5	7.8	7.8	7.7	6.0 ~ 7.5
	B O D	mg-O/ℓ	1.2	0.5	0.7	0.7	
	C O D	mg-O/ℓ	3.1	2.9	3.6	2.1	6ppm以下
	S S	mg/ℓ	2.8	2.1	1.1	<1.0	100ppm以下
	全窒素	mg-N/ℓ	8.3	9.7	8.9	11	1ppm以下
	全磷	mg-P/ℓ	0.091	0.051	0.028	0.019	

表 4 - 5 - 3 (4) 水質調査結果 (4)

項目名		単位	4月16日	5月15日	6月11日	7月12日	8月7日	9月11日	10月4日	11月5日	12月9日	1月16日	2月5日	3月4日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	淡黄色	淡黄色	淡黄色	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温			23.0	23.0	24.2	34.1	38.0	30.5	24.0	22.5	11.3	8.0	4.0	7.5	
水温			15.7	20.6	19.9	24.3	25.6	23.2	19.5	16.6	10.2	6.2	7.7	8.0	
流量		m ³ /分	5.0	6.2	5.9	5.5	6.9	5.3	5.0	5.3	3.7	4.8	5.9	6.0	
生活環境項目等	p H		7.7	8.3	7.5	7.8	7.9	8.2	8.0	7.8	8.1	7.9	7.8	7.6	6.0～7.5
	B O D	mg-O/ℓ	0.5	1.2	1.1	0.6	0.9	1.2	1.1	0.7	1.1	1.4	1.5	1.0	
	C O D	mg-O/ℓ	2.7	3.5	3.4	2.8	3.3	3.3	4.1	2.9	3.2	3.1	3.3	2.4	6ppm以下
	S S	mg/ℓ	1.3	1.9	2.4	1.0	2.7	5.0	2.1	1.4	1.3	2.2	3.1	2.5	100ppm以下
	全窒素	mg-N/ℓ	6.5	5.9	6.2	4.9	5.9	5.3	8.1	6.2	6.9	7.8	7.5	7.1	1ppm以下
	全燐	mg-P/ℓ	0.037	0.046	0.052	0.063	0.028	0.045	0.035	0.032	0.029	0.036	0.036	0.036	
健康項目等	カドミウム	mg/ℓ	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	<0.0003	-	-	
	鉛	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	砒素	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	
	銅	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/ℓ	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	<0.01	-	-	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/ℓ	0.10	-	-	0.07	-	-	0.05	-	-	0.06	-	-	
	溶解性マンガン	mg/ℓ	0.12	-	-	0.05	-	-	0.05	-	-	0.06	-	-	
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	<0.02	-	-	
	ふっ素	mg/ℓ	0.12	-	-	0.15	-	-	0.19	-	-	0.13	-	-	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	検出せず (<0.5)	-	-	
	大腸菌群数 (MPN)	MPN/100mℓ	920	-	-	1300	-	-	2200	-	-	49	-	-	
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	<0.005	-	-	
	硫酸イオン	mg/ℓ	97	-	-	120	-	-	170	-	-	130	-	-	
	硬度	mg/ℓ	150	-	-	140	-	-	180	-	-	200	-	-	

注：表中の「 - 」は調査を実施していないことを示す。

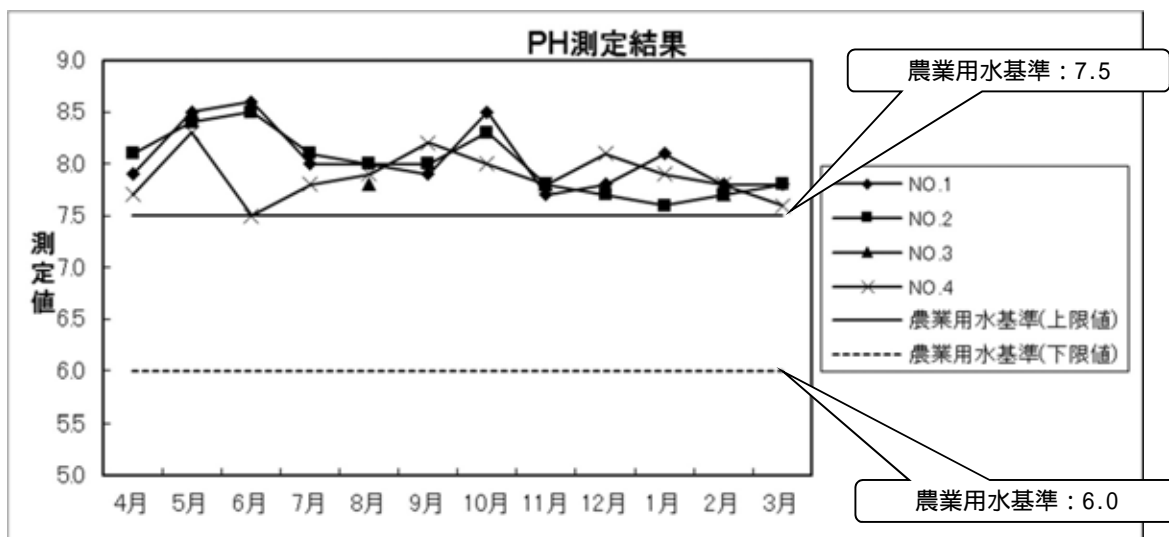


図 4 - 5 - 2 水質調査結果 (p H)

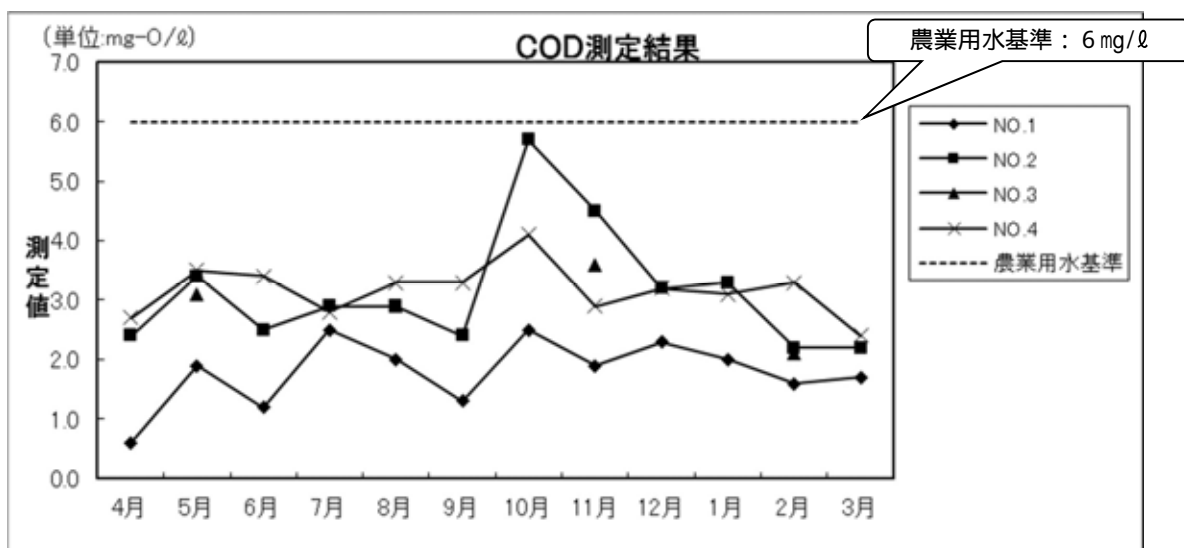


図 4 - 5 - 3 水質調査結果 (C O D)

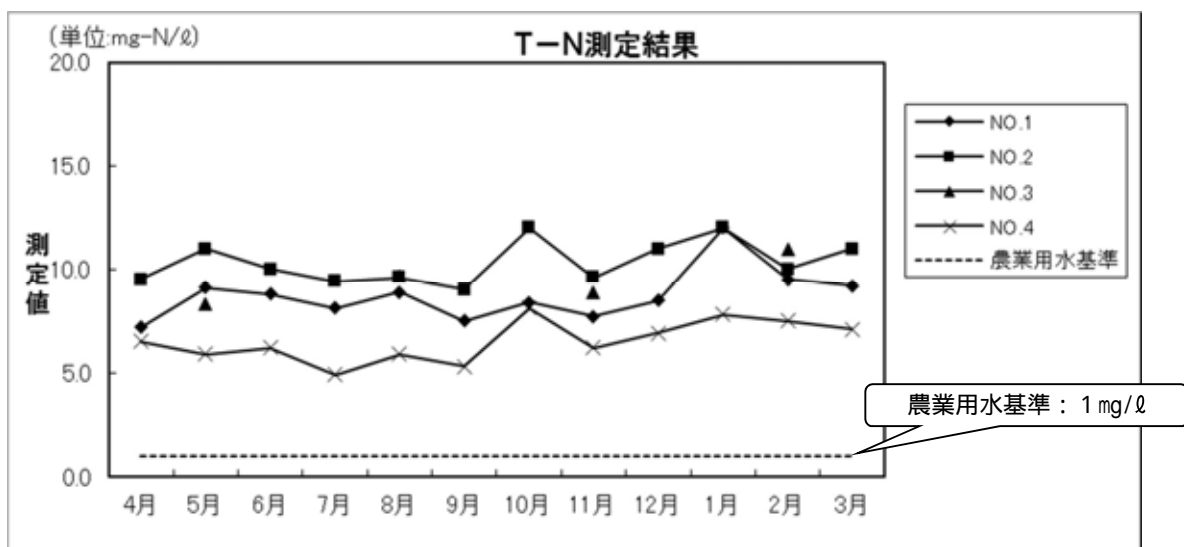


図 4 - 5 - 4 水質調査結果 (T - N)

2 - 2 環境ホルモン

環境ホルモンの調査結果は表 4 - 5 - 4 に示したとおりです。

環境ホルモンのうち、ダイオキシン類は 0.055 ~ 0.22pg-TEQ/ℓ の範囲でした。

2 季の調査結果の算術平均(年平均値)は、1 では 0.078pg-TEQ/ℓ、2 では 0.14pg-TEQ/ℓ、3 では 0.13pg-TEQ/ℓ、4 では 0.12pg-TEQ/ℓ であり、平成 12 年 1 月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準(1 pg-TEQ/ℓ 以下：年間平均値)を満足していました。

ダイオキシン類以外の環境ホルモンでは、ビスフェノール A が 1 と 2 で 0.02 μg/ℓ、4 で 0.11 μg/ℓ、アジピン酸ジ - 2 - エチルヘキシルが 2 で 0.03 μg/ℓ と検出されましたが、その他は全て定量下限値未満でした。

表 4 - 5 - 4 環境ホルモン調査結果

(ダイオキシン類単位：pg-TEQ/ℓ、その他項目単位：μg/ℓ)

測定項目	1		2		3		4	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
ダイオキシン類	0.095	0.061	0.22	0.063	0.21	0.055	0.19	0.056
(年平均値)	0.078		0.14		0.13		0.12	
ビスフェノール A	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.11
フタル酸ジ - 2 - エチルヘキシル	-	<0.5	-	<0.5	-	-	-	<0.5
フタル酸ジ - n - プチル	-	<0.5	-	<0.5	-	-	-	<0.5
フタル酸ジ フェニル	-	<0.2	-	<0.2	-	-	-	<0.2
フタル酸ジ シクロヘキシル	-	<0.2	-	<0.2	-	-	-	<0.2
フタル酸ジ エチル	-	<0.2	-	<0.2	-	-	-	<0.2
アジピン酸ジ - 2 - エチルヘキシル	-	<0.01	-	0.03	-	-	-	<0.01

注：ダイオキシン類の毒性等量 (TEQ) は、「ダイオキシン類対策特別措置法」-H11.7.12(環境庁)に基づき算出した。
(検出下限以上の値はそのまま用い、検出下限未満の値はその 1/2 を用いて算出した。)

河川中の環境ホルモンについて、今回の調査結果を昨年度（平成 24 年度）の調査結果と比較すると、表 4 - 5 - 5 に示したとおり、ダイオキシン類では昨年度を下回る値であり、他の項目ではいずれも同程度又は定量下限値未満でした。

また、今回の調査結果を三重県が実施している調査結果と比較すると、表 4 - 5 - 6 に示したとおり、ビスフェノール A 以外の項目は、三重県の調査結果を概ね下回る値又は定量下限値未満でした。

表 4 - 5 - 5 昨年度（平成 24 年度）調査結果との比較

物質名	単 位	今年度の 事後調査結果	平成 24 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	0.078～0.14	0.12～0.38
ビスフェノール A	μg/ℓ	0.02～0.11	<0.01～0.08
フタル酸ジ [・] -2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.5	<0.5
フタル酸ジ [・] -n-ブチル	μg/ℓ	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ [・] -2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.01～0.03	<0.01

：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

表 4 - 5 - 6 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単 位	今年度の 事後調査結果 ¹	三重県が実施した 調査結果の範囲
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	0.078～0.14	0.016～1.6 ² (n = 42)
ビスフェノール A	μg/ℓ	0.02～0.11	<0.01～0.04 ³ (n = 9)
フタル酸ジ [・] -2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.5	<0.5～0.9 ³ (n = 9)
フタル酸ジ [・] -n-ブチル	μg/ℓ	<0.5	<0.5～0.6 ³ (n = 9)
フタル酸ブチルベンジル	μg/ℓ	<0.2	-
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/ℓ	<0.2	-
フタル酸ジエチル	μg/ℓ	<0.2	-
アジピン酸ジ [・] -2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.01～0.03	-

1：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

2：「平成 24 年度のダイオキシン類環境調査結果」（三重県環境生活部大気・水環境課、平成 25 年 10 月 17 日）

3：「平成 17 年版環境白書（三重県）」（以降最新データなし）

第6節 地下水の水質

第1項 調査概要

最終処分場の供用を受け、同施設周辺の地下水の状況を把握するため、調査を実施しました。

1 - 1 調査時期

調査は表4 - 6 - 1に示したとおり毎月実施しました。

また、環境基準項目と環境ホルモン（ダイオキシン類を含む）については、冬季（2月）に1回実施しました。

表4 - 6 - 1 調査時期

調査年月日
平成25年 4月18日
平成25年 5月16日
平成25年 6月11日
平成25年 7月19日
平成25年 8月 9日
平成25年 9月26日
平成25年10月18日
平成25年11月22日
平成25年12月12日
平成26年 1月 7日
平成26年 2月17日
平成26年 3月12日

1 - 2 調査地点

調査地点は、図4 - 6 - 1に示したモニター井 A、 B、 Cの3地点としました。

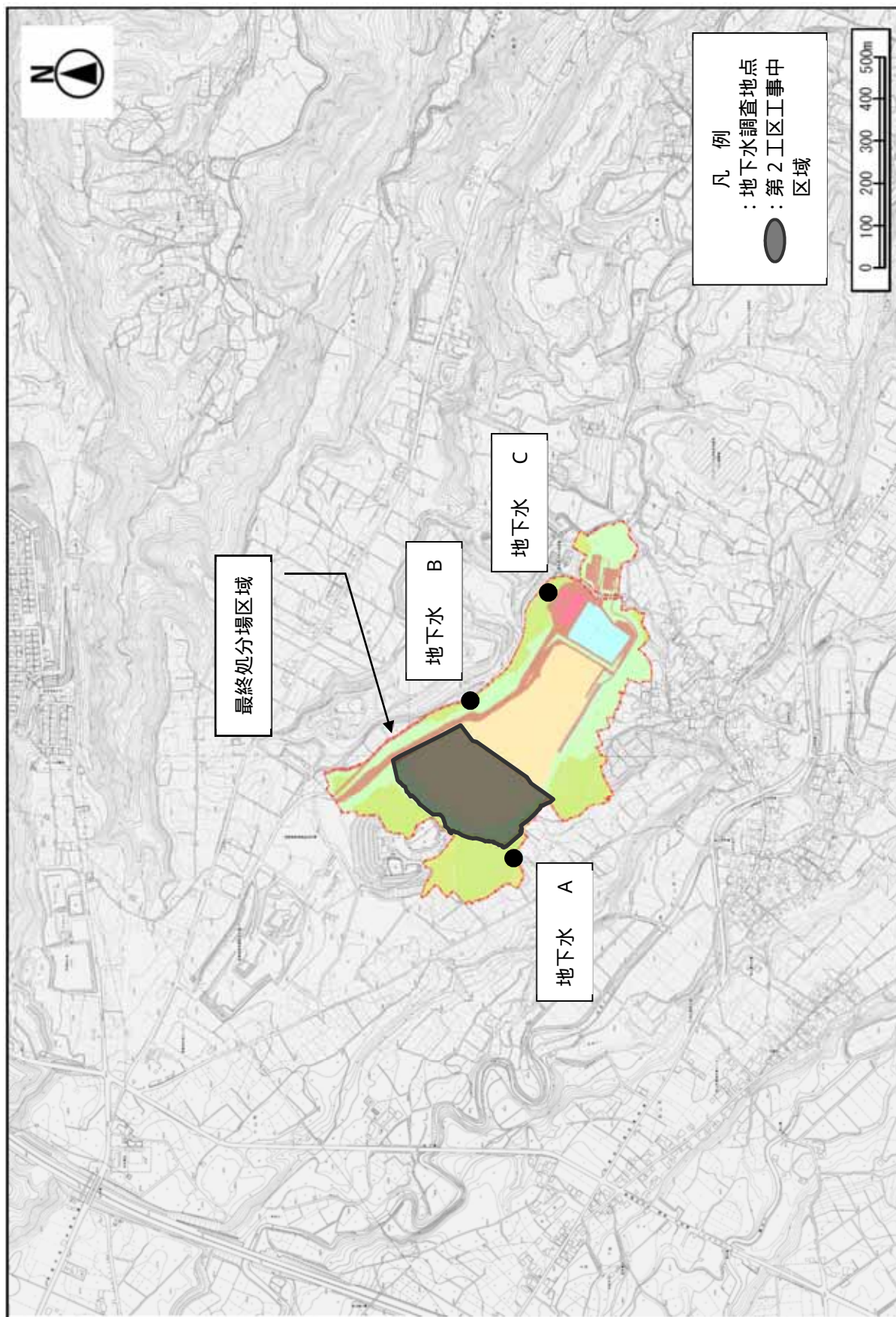


図 4 - 6 - 1 地下水調査地点

1 - 3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）等の生活環境項目等 19 項目、カドミウム、全シアン等の環境基準項目 28 項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン 8 項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表 4 - 6 - 2 に示したとおりです。

表 4 - 6 - 2 (1) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
生活環境項目等	外 観	JIS K 0102 8
	水素イオン濃度(pH)	JIS K 0102 12.1
	生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102 21 及び 32.3
	化学的酸素要求量(COD-Mn)	JIS K 0102 17
	浮遊物質(SS)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9
	n - ヘキサン抽出物質	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 13
	大腸菌群数(MPN)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号別表 2
	全窒素(T-N)	JIS K 0102 45.4
	全磷(T-P)	JIS K 0102 46.3
	電気伝導率	JIS K 0102 13
	硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
	硬 度	JIS K 0101 15.1
	フェノール類	JIS K 0102 28.1
	銅	JIS K 0102 52.4
	亜 鉛	JIS K 0102 53.3
	溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
	溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
	クロム含有量	JIS K 0102 65.1.4
	塩化物イオン	JIS K 0102 35.1

表 4 - 6 - 2 (2) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
環境基準項目	カドミウム	JIS K 0102 55.4
	全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3
	鉛	JIS K 0102 54.3
	六価クロム	JIS K 0102 65.2.4
	砒 素	JIS K 0102 61.3
	総水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 1
	アルキル水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 2
	P C B	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 3
	ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
	四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
	塩化ビニルモノマー	平成 9 年環境庁告示第 10 号付表
	1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,2-ジクロロベンゼン	JIS K 0125 5.2
	1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	テトラクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,3-ジクロロベンゼン	JIS K 0125 5.2
	チウラム	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 4
	シマジン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5 第 1
	チオベンカルブ	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5 第 1
	ベンゼン	JIS K 0125 5.2
	セレン	JIS K 0102 67.3
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43
	ほう素	JIS K 0102 47.3
	1,4-ジオキサン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7
	ふっ素	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6
環境ホルモン	ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示第 68 号
	ビスフェノール A	環境ホルモン調査マニュアル
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
	フタル酸ジ-n-ブチル	
	フタル酸ジフェニル	
	フタル酸ジシクロヘキシル	
	フタル酸ジエチル	
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	

第2項 調査結果

2 - 1 生活環境項目等、環境基準項目

調査結果は表4 - 6 - 3 ~ 5に示したとおりであり、生活環境項目等は地点間で比較すると、全窒素は Aが、それ以外の項目については Bに高い傾向の項目がみられました。

環境基準項目については、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素とほう素が検出されましたが、いずれも基準を満足する値であり、それ以外の項目は全て定量下限値未満でした。

2 - 2 環境ホルモン

ダイオキシン類については表4 - 6 - 6に、その他の項目については表4 - 6 - 7に示したとおりです。

ダイオキシン類は0.038~0.041pg-TEQ/ℓであり、平成12年1月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準（1pg-TEQ/ℓ以下：年間平均値）を満足していました。

その他の環境ホルモンでは、全て定量下限値未満でした。

また、今回の値を昨年度（平成24年度）の調査結果と比較すると、表4 - 6 - 8に示したとおり、ダイオキシン類では各地点とも昨年度と同じ値でした。

さらに、ダイオキシン類の結果を三重県が実施した調査結果と比較すると、表4 - 6 - 9に示したとおり、今回の値は三重県の調査結果をやや上回る値でした。

表4 - 6 - 3 (1) 地下水調査結果 (A)

項 目		単 位	4月18日	5月16日	6月11日	7月19日	8月9日	9月26日	基準値
生活環境項目等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		24.8	24.4	24.0	30.0	37.0	26.0	-
	水 温		17.0	17.0	17.0	16.3	17.0	17.3	-
	p H	-	5.9	5.8	5.8	5.7	6.0	5.8	-
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	亜 鉛	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性鉄	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/ℓ	9.9	9.3	9.6	10	12	9.6	-
	全 磷	mg-P/ℓ	0.024	0.023	0.020	0.017	0.021	0.021	-
	硬 度	mg/ℓ	70	64	64	64	64	70	-
	電気伝導率	mS/m	20	20	20	20	20	21	-
	硫酸イオン	mg/ℓ	23	23	24	24	23	23	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mℓ	<2	<2	17	2	8	<2	-
	塩化物イオン	mg/ℓ	19	16	17	17	19	17	-
環境基準項目	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表4 - 6 - 3 (2) 地下水調査結果 (A)

項 目		単 位	10月18日	11月22日	12月12日	1月7日	2月17日	3月12日	基準値
生活環境項目等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		18.5	16.2	7.0	10.8	8.0	16.1	-
	水 温		16.7	16.7	15.5	15.9	16.0	16.8	-
	p H	-	5.5	6.0	5.6	6.0	5.5	5.9	-
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	亜 鉛	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性鉄	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/ℓ	8.2	10	10	10	9.7	8.6	-
	全 磷	mg-P/ℓ	0.029	0.019	0.016	0.018	0.018	0.014	-
	硬 度	mg/ℓ	66	68	70	70	56	62	-
	電気伝導率	mS/m	20	21	20	20	19	20	-
	硫酸イオン	mg/ℓ	23	22	22	23	22	22	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mℓ	2	<2	<2	<2	<2	<2	-
	塩化物イオン	mg/ℓ	20	18	17	21	17	18	-
環境基準項目	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	-	-	-	-	8.9	-	10
	ほう素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.02	-	1
	カドミウム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	全シアン	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.1)	-	検出されないこと
	鉛	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	六価クロム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.02	-	0.05
	砒 素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	総水銀	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	0.0005
	アルキル水銀	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	P C B	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	四塩化炭素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0004	-	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.004	-	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	トリクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.03
	テトラクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	チウラム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	シマジン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	チオベンカルブ	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	ベンゼン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.001	-	0.01
	セレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.05

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表 4 - 6 - 4 (1) 地下水調査結果 (B)

項 目		単 位	4月18日	5月16日	6月11日	7月19日	8月9日	9月26日	基準値
生 活 環 境 項 目 等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		24.8	24.4	24.0	30.0	37.0	26.0	-
	水 温		16.3	16.5	16.5	16.4	16.9	19.5	-
	p H	-	5.9	5.9	6.2	5.6	5.8	5.6	-
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	亜 鉛	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.87	-
	溶解性鉄	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/ℓ	0.03	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05	-
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/ℓ	6.2	6.3	6.5	5.8	6.9	5.2	-
	全 燐	mg-P/ℓ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.031	-
	硬 度	mg/ℓ	100	130	170	300	230	250	-
	電気伝導率	mS/m	62	72	80	94	100	97	-
	硫酸イオン	mg/ℓ	82	94	110	150	170	190	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mℓ	<2	<2	<2	<2	<2	<2	-
	塩化物イオン	mg/ℓ	120	140	150	170	200	170	-
環境基準項目	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表4 - 6 - 4 (2) 地下水調査結果 (B)

項 目		単 位	10月18日	11月22日	12月12日	1月7日	2月17日	3月12日	基準値
生活環境項目等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		20.6	15.8	6.0	8.0	8.0	13.0	-
	水 温		17.0	16.5	15.5	15.5	16.0	16.5	-
	p H	-	5.8	5.7	5.6	6.0	5.7	5.7	-
	B O D	mg-O/l	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/l	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/l	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/l	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	-
	亜 鉛	mg/l	0.41	0.15	0.21	<0.01	0.03	0.02	-
	溶解性鉄	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	0.31	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/l	0.04	0.03	0.03	0.12	0.03	0.03	-
	クロム含有量	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/l	5.1	5.2	6.5	5.0	4.6	4.7	-
	全 燐	mg-P/l	0.010	0.003	0.004	<0.003	0.006	<0.003	-
	硬 度	mg/l	210	250	250	200	210	150	-
	電気伝導率	mS/m	88	81	76	71	69	66	-
環境基準項目	硫酸イオン	mg/l	180	180	180	180	180	180	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100ml	<2	<2	<2	2	<2	<2	-
	塩化物イオン	mg/l	150	120	110	100	81	69	-
	ふっ素	mg/l	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	-	-	-	-	4.6	-	10
	ほう素	mg/l	-	-	-	-	0.03	-	1
	カドミウム	mg/l	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	全シアン	mg/l	-	-	-	-	検出せず (<0.1)	-	検出されないこと
	鉛	mg/l	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	六価クロム	mg/l	-	-	-	-	<0.02	-	0.05
	砒 素	mg/l	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	総水銀	mg/l	-	-	-	-	<0.0005	-	0.0005
	アルキル水銀	mg/l	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	P C B	mg/l	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/l	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	四塩化炭素	mg/l	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/l	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/l	-	-	-	-	<0.0004	-	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	<0.002	-	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	<0.004	-	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	-	-	-	-	<0.0005	-	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	トリクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	<0.002	-	0.03
	テトラクロロエチレン	mg/l	-	-	-	-	<0.0005	-	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/l	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	チウラム	mg/l	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	シマジン	mg/l	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	チオベンカルブ	mg/l	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	ベンゼン	mg/l	-	-	-	-	<0.001	-	0.01
	セレン	mg/l	-	-	-	-	<0.002	-	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/l	-	-	-	-	<0.005	-	0.05

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表4 - 6 - 5 (1) 地下水調査結果 (C)

項 目		単 位	4月18日	5月16日	6月11日	7月19日	8月9日	9月26日	基準値
生活環境項目等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		24.8	24.4	24.0	30.0	37.0	24.7	-
	水 温		16.2	16.2	16.2	16.3	16.5	17.0	-
	p H	-	6.1	6.1	6.0	6.1	6.3	6.1	-
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	亜 鉛	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性鉄	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/ℓ	5.1	5.2	5.9	5.5	5.2	5.4	-
	全 燐	mg-P/ℓ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.037	-
	硬 度	mg/ℓ	64	50	53	50	52	50	-
	電気伝導率	mS/m	32	31	31	31	32	32	-
	硫酸イオン	mg/ℓ	60	56	55	57	57	58	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mℓ	<2	<2	<2	<2	<2	<2	-
	塩化物イオン	mg/ℓ	34	30	32	31	35	28	-
環境基準項目	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表4 - 6 - 5 (2) 地下水調査結果 (C)

項 目		単 位	10月18日	11月22日	12月12日	1月7日	2月17日	3月12日	基準値
生活環境項目等	外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-
	気 温		18.9	15.3	7.3	9.2	7.8	16.1	-
	水 温		16.2	16.0	15.0	14.8	15.8	16.5	-
	p H	-	6.2	6.0	6.0	6.4	6.2	6.0	-
	B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-
	浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	-
	n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	-
	フェノール類	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	銅	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	亜 鉛	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性鉄	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
	クロム含有量	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	-
	全窒素	mg-N/ℓ	5.2	4.8	5.7	4.3	3.7	3.4	-
	全 燐	mg-P/ℓ	0.011	0.004	0.003	0.003	0.007	0.003	-
	硬 度	mg/ℓ	48	49	54	60	45	48	-
	電気伝導率	mS/m	31	31	31	33	29	30	-
	硫酸イオン	mg/ℓ	58	59	60	61	57	61	-
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100ml	<2	<2	<2	<2	<2	<2	-
	塩化物イオン	mg/ℓ	30	28	27	27	25	25	-
環境基準項目	ふっ素	mg/ℓ	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	-	-	-	-	3.5	-	10
	ほう素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.02	-	1
	カドミウム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	全シアン	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.1)	-	検出されないこと
	鉛	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	六価クロム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.02	-	0.05
	砒 素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.01
	総水銀	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	0.0005
	アルキル水銀	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	P C B	mg/ℓ	-	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	四塩化炭素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0004	-	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.004	-	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	トリクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.03
	テトラクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	-	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0002	-	0.002
	チウラム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0006	-	0.006
	シマジン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0003	-	0.003
	チオベンカルブ	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.02
	ベンゼン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.001	-	0.01
	セレン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	-	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	-	0.05

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)

表 4 - 6 - 6 ダイオキシン類調査結果（冬季：平成 26 年 2 月 17 日）

物質名	単位	A	B	C
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	0.038	0.041	0.038

注：ダイオキシン類の毒性等量(TEQ)は、「ダイオキシン類対策特別措置法」-H11.7.12(環境庁)に基づき算出した。(検出下限以上の値はそのまま用い、検出下限未満の値はその 1/2 を用いて算出した。)

表 4 - 6 - 7 その他の環境ホルモン調査結果（冬季：平成 26 年 2 月 17 日）

物質名	単位	A	B	C
ビスフェノール A	μg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ジフェニル	μg/ℓ	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/ℓ	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μg/ℓ	<0.2	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01

表 4 - 6 - 8 昨年度（平成 24 年度）調査結果との比較

物質名	単位	今年度の 事後調査結果	平成 24 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	0.038 ~ 0.041	0.038 ~ 0.041
ビスフェノール A	μg/ℓ	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μg/ℓ	<0.5	<0.5
フタル酸ジフェニル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μg/ℓ	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/ℓ	<0.01	<0.01

表 4 - 6 - 9 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単位	事後調査結果	三重県が実施した 調査結果(n = 5)
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	0.038 ~ 0.041	0.014 ~ 0.016

注：三重県の調査結果は、「平成 24 年度のダイオキシン類環境調査結果」(三重県環境生活部大気・水環境課、平成 25 年 10 月 17 日)による。

第7節 浸出水処理水

第1項 調査概要

最終処分場の供用を受け、浸出水処理施設において浸出水が適切に処理されているかを確認するため、処理水の水質調査を実施しました。

1 - 1 調査地点

調査地点は図4 - 7 - 1に示したとおり、最終処分場区域内に設置した浸出水処理施設出口の1地点としました。

1 - 2 調査時期

調査は施設の供用を開始した平成24年12月より毎月実施することとしており、今年度は表4 - 7 - 1に示したとおり12回実施しました。

表4 - 7 - 1 浸出水処理水調査年月日

調査年月日
平成25年 4月 16日
平成25年 5月 15日
平成25年 6月 4日
平成25年 7月 25日
平成25年 8月 8日
平成25年 9月 11日
平成25年 10月 4日
平成25年 11月 5日
平成25年 12月 9日
平成26年 1月 16日
平成26年 2月 5日
平成26年 3月 4日

1 - 3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表4 - 7 - 2に示したとおりです。

なお、調査項目のうち、pH、BOD、COD、アンモニア性窒素、硫酸イオン等22項目は毎月、ほう素、カドミウム、全シアン等33項目は年に1回実施する項目です。

表 4 - 7 - 2 (1) 浸出処理水調査項目及び分析方法

項 目	分析方法
p H	JIS K 0102 12.1
B O D	JIS K 0102 21 及び 32.3
C O D (M n)	JIS K 0102 17
浮遊物質 (S S)	昭和 46 環告 59 号付表 9
フェノール類	JIS K 0102 28.1
n - ヘキサン抽出物質	昭和 49 環告 64 号付表 4
銅	JIS K 0102 52.4
亜 鉛	JIS K 0102 53.3
溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
全クロム	JIS K 0102 65.1.4
ふっ素	JIS K 0102 34.1
大腸菌群数 (1cm ³)	昭和 37 厚生省・建設省令第 1 号
全窒素	JIS K 0102 45.2
全 磷	JIS K 0102 46.3.1
アンモニア性窒素	JIS K 0102 42.1 及び 42.3
亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43.1.1
硝酸性窒素	JIS K 0102 43.2.3
有機態窒素	(計算値)
ほう素	JIS K 0102 47.3
硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
硬 度	JIS K 0101 15.1
電気伝導率	JIS K 0102 13
カドミウム	JIS K 0102 55.3
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3
鉛	JIS K 0102 54.3
六価クロム	JIS K 0102 65.2.4
砒 素	JIS K 0102 61.3
総水銀	昭和 46 環告 59 号付表 1
アルキル水銀	昭和 46 環告 59 号付表 2
P C B	昭和 46 環告 59 号付表 3
セレン	JIS K 0102 67.3
1,4-ジオキサン	昭和 46 環告 59 号付表 7
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
ベンゼン	JIS K 0125 5.2
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
チウラム	昭和 46 環告 59 号付表 4
シマジン	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1
チオベンカルブ	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1

表 4 - 7 - 2 (2) 浸出処理水調査項目及び分析方法

項 目	分析方法
ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示第 68 号
ビスフェノール A フタル酸ジ-2-エチルヘキシル フタル酸ジ-n-ブチル フタル酸ジフェニル フタル酸ジシクロヘキシル フタル酸ジエチル アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」(平成 10 年 10 月)に準拠

第 2 項 調査結果

調査の結果は表 4 - 7 - 3 に示すとおり、全 55 項目の測定結果のうち検出された項目は pH が 7.2~8.5、BOD が<0.5~0.8mg/ℓ、COD が<0.5~6.0mg/ℓ、SS が<1.0~2.7mg/ℓ、ふっ素が<0.5~3.6mg/ℓ、全窒素が 1.3~8.1mg/ℓ、全磷が<0.01~0.02mg/ℓ、亜硝酸性窒素が<0.01~0.17mg/ℓ、硝酸性窒素が 0.95~7.3mg/ℓ、有機態窒素が<0.5~1.4mg/ℓ、ほう素が 0.3mg/ℓ、硫酸イオンが 260~2,000mg/ℓ、硬度が 330~1,800mg/ℓ、電気伝導率が 130~930mS/m、ダイオキシン類が 0.00015pg-TEQ/ℓであり、ダイオキシン類も含め基準値のある項目及び管理基準値を設定している項目については、いずれも基準値及び管理基準値を下回る値又は定量下限値未満の値でした。

表 4 - 7 - 3 (1) 浸出水処理水調査結果

項 目	単位	4月16日	5月15日	6月4日	7月25日	8月8日	9月11日	基準値 ^{注1)}	管理基準値 ^{注2)}
外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-	-
気 温		23.0	23.2	25.4	29.9	36.2	29.5	-	-
水 温		13.4	17.5	16.9	25.1	28.0	28.5	-	-
p H	-	7.8	7.2	7.8	7.8	8.1	7.7	5.8~8.6	6.0~8.5
B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	60	5
C O D (M n)	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	0.9	<0.5	4.8	90	10
浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	2.7	60	5
フェノール類	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5	-
n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5 動植物油脂類30	-
銅	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3	-
亜 鉛	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2	-
溶解性鉄	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	-
溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	-
全クロム	mg/ℓ	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2	-
ふっ素	mg/ℓ	0.9	0.5	0.7	1.6	1.6	3.6	8	-
大腸菌群数 (1cm ³)	個/cm ³	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000	-
全窒素	mg-N/ℓ	2.4	3.5	2.4	4.4	6.0	7.4	120 (日間平均60)	10
全 磷	mg-P/ℓ	<0.01	0.02	0.01	<0.01	0.01	0.02	16 (日間平均8)	0.2
アンモニア性窒素	mg-N/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-	-
亜硝酸性窒素	mg-N/ℓ	0.03	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.17	-	-
硝酸性窒素	mg-N/ℓ	2.1	3.0	2.0	4.2	4.6	6.2	-	-
有機態窒素 (計算値)	mg-N/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.4	1.0	-	-
硫酸イオン	mg/ℓ	740	760	870	1200	1100	1800	-	-
硬 度	mg/ℓ	870	700	800	1100	1100	1600	-	-
電気伝導率	mS/m	350	370	420	580	560	780	-	-

注 1) 基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注 2) 管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 4 - 7 - 3 (2) 浸出水処理水調査結果

項 目	単位	10月4日	11月5日	12月9日	1月16日	2月5日	3月4日	基準値 ^{注1)}	管理基準値 ^{注3)}
外 観	-	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	-	-
気 温	-	23.0	19.8	11.0	8.2	1.3	8.0	-	-
水 温	-	23.5	18.5	10.5	7.2	7.0	9.5	-	-
p H	-	7.8	8.1	7.6	8.5	7.6	7.6	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg-O/ℓ	<0.5	<0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	60	5
C O D (M n)	mg-O/ℓ	6.0	1.6	1.9	1.7	1.4	2.5	90	10
浮遊物質 (S S)	mg/ℓ	1.4	<1.0	<1.0	2.4	<1.0	<0.1	60	5
フェノール類	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5	-
n - ヘキサン抽出物質	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5 動植物油脂類30	-
銅	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3	-
亜 鉛	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2	-
溶解性鉄	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	-
溶解性マンガン	mg/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	-
全クロム	mg/ℓ	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2	-
ふっ素	mg/ℓ	3.0	<0.5	1.3	1.1	1.0	1.4	8	-
大腸菌群数 (1cm ³)	個 / cm ³	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000	-
全窒素	mg-N/ℓ	8.1	1.3	2.7	2.6	2.1	4.6	120 (日間平均60)	10
全 磷	mg-P/ℓ	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	16 (日間平均8)	0.2
アンモニア性窒素	mg-N/ℓ	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	-	-
亜硝酸性窒素	mg-N/ℓ	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	-	-
硝酸性窒素	mg-N/ℓ	7.3	0.95	2.4	2.1	2.1	3.5	-	-
有機態窒素 (計算値)	mg-N/ℓ	0.8	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	1.1	-	-
ほう素	mg/ℓ	-	-	-	0.3	-	-	10	-
硫酸イオン	mg/ℓ	2000	260	1000	830	720	1100	-	-
硬 度	mg/ℓ	1800	330	1200	1000	830	1200	-	-
電気伝導率	mS/m	930	130	450	400	310	570	-	-
カドミウム	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
全シアン	mg/ℓ	-	-	-	<0.1	-	-	1	-
鉛	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
六価クロム	mg/ℓ	-	-	-	<0.05	-	-	0.5	-
砒 素	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
総水銀	mg/ℓ	-	-	-	<0.0005	-	-	0.005	-
アルキル水銀	mg/ℓ	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	-	検出されないこと (<0.005)	-
P C B	mg/ℓ	-	-	-	<0.0005	-	-	0.003	-
セレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
1,4-ジオキサン	mg/ℓ	-	-	-	<0.05	-	-	0.5	-
ジクロロメタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.02	-	-	0.2	-
四塩化炭素	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.02	-
1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.004	-	-	0.04	-
1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.02	-	-	1	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.04	-	-	0.4	-
1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.006	-	-	0.06	-
ベンゼン	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
トリクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.03	-	-	0.3	-
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	0.1	-
1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.3	-	-	3	-
1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.02	-
チウラム	mg/ℓ	-	-	-	<0.006	-	-	0.06	-
シマジン	mg/ℓ	-	-	-	<0.003	-	-	0.03	-
チオベンカルブ	mg/ℓ	-	-	-	<0.02	-	-	0.2	-
ダイオキシン類	pg-TEQ/ℓ	-	-	-	0.00015	-	-	10 ^{注2)}	-
ビスフェノール A	μ g/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	-	-
フタル酸ジ -2-エチルヘキシル	μ g/ℓ	-	-	-	<0.5	-	-	-	-
フタル酸ジ -n-ブチル	μ g/ℓ	-	-	-	<0.5	-	-	-	-
フタル酸ジ -フェニル	μ g/ℓ	-	-	-	<0.2	-	-	-	-
フタル酸ジ -シクロヘキシル	μ g/ℓ	-	-	-	<0.2	-	-	-	-
フタル酸ジ -イソ	μ g/ℓ	-	-	-	<0.2	-	-	-	-
アジピン酸ジ -2-エチルヘキシル	μ g/ℓ	-	-	-	<0.01	-	-	-	-

注 1) 基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

なお、平成 25 年 6 月 1 日より 1,1-ジクロロエチレンの基準値が 0.2mg/ℓ から 1mg/ℓ に変更された。

注 2) ダイオキシン類の基準値は「ダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管理の基準を定める省令」(最終改正：平成 12 年 8 月 14 日総厚令第 3 号)に定める維持管理基準を表示。

注 3) 管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

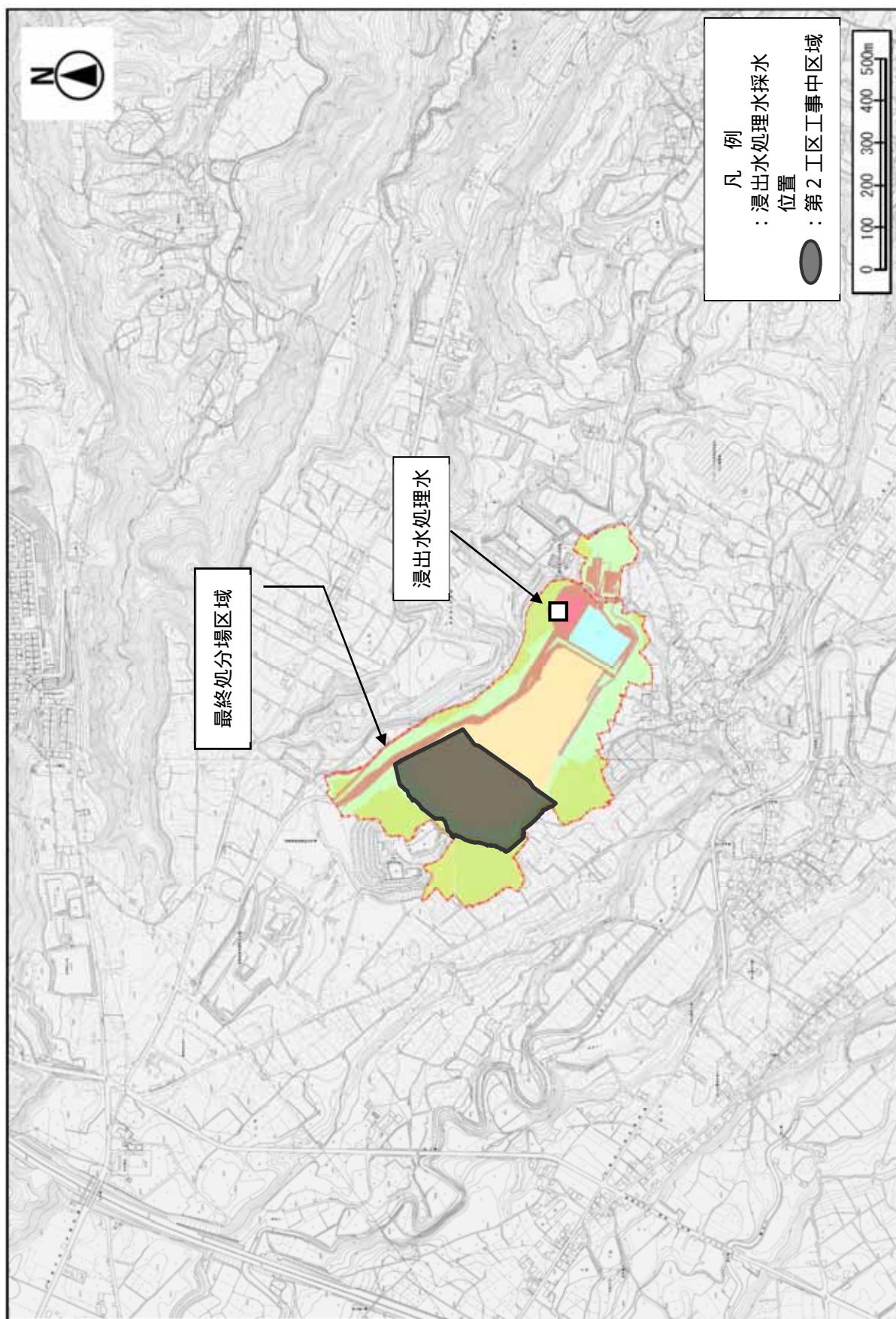


图 4 - 7 - 1 浸出水処理水調査地点

第8節 地下水（処分場地下集排水）

第1項 調査概要

平成24年12月に最終処分場の供用を開始したことから、同月より前述の地下水調査（モニター井 A～C）と併せて、処分場内に設置した地下水集排水管で集められた湧水等の状況を把握するため、この水質調査を実施しました。

1-1 調査地点

調査地点は図4-8-1に示したとおり、最終処分場区域内に設置した処分場地下集排水採取口の1地点としました。

1-2 調査時期

調査は施設の供用を開始した平成24年12月より毎月実施することとしており、今年度は表4-8-1に示したとおり12回実施しました。

表4-8-1 地下集排水調査年月日

調査年月日
平成25年 4月 16日
平成25年 5月 15日
平成25年 6月 4日
平成25年 7月 12日
平成25年 8月 7日
平成25年 9月 11日
平成25年 10月 4日
平成25年 11月 5日
平成25年 12月 9日
平成26年 1月 16日
平成26年 2月 5日
平成26年 3月 4日

1-3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表4-8-2に示したとおりです。

なお、調査項目のうち、電気伝導率、塩化物イオンは毎月実施し、カドミウム、全シアン、鉛等25項目は年に1回実施する項目です。

表 4 - 8 - 2 調査項目及び分析方法

項 目	分析方法
電気伝導率	JIS K 0102 13
塩化物イオン	JIS K 0102 35.1
カドミウム	JIS K 0102 55.4
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3
鉛	JIS K 0102 54.3
六価クロム	JIS K 0102 65.2.4
砒 素	JIS K 0102 61.3
総水銀	昭和 46 環告 59 号付表 1
アルキル水銀	昭和 46 環告 59 号付表 2
P C B	昭和 46 環告 59 号付表 3
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
塩化ビニルモノマー	平成 9 年環告 10 号付表
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
チウラム	昭和 46 環告 59 号付表 4
シマジン	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1
チオベンカルブ	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1
ベンゼン	JIS K 0125 5.2
セレン	JIS K 0102 67.3
1,4-ジオキサン	昭和 46 環告 59 号付表 7

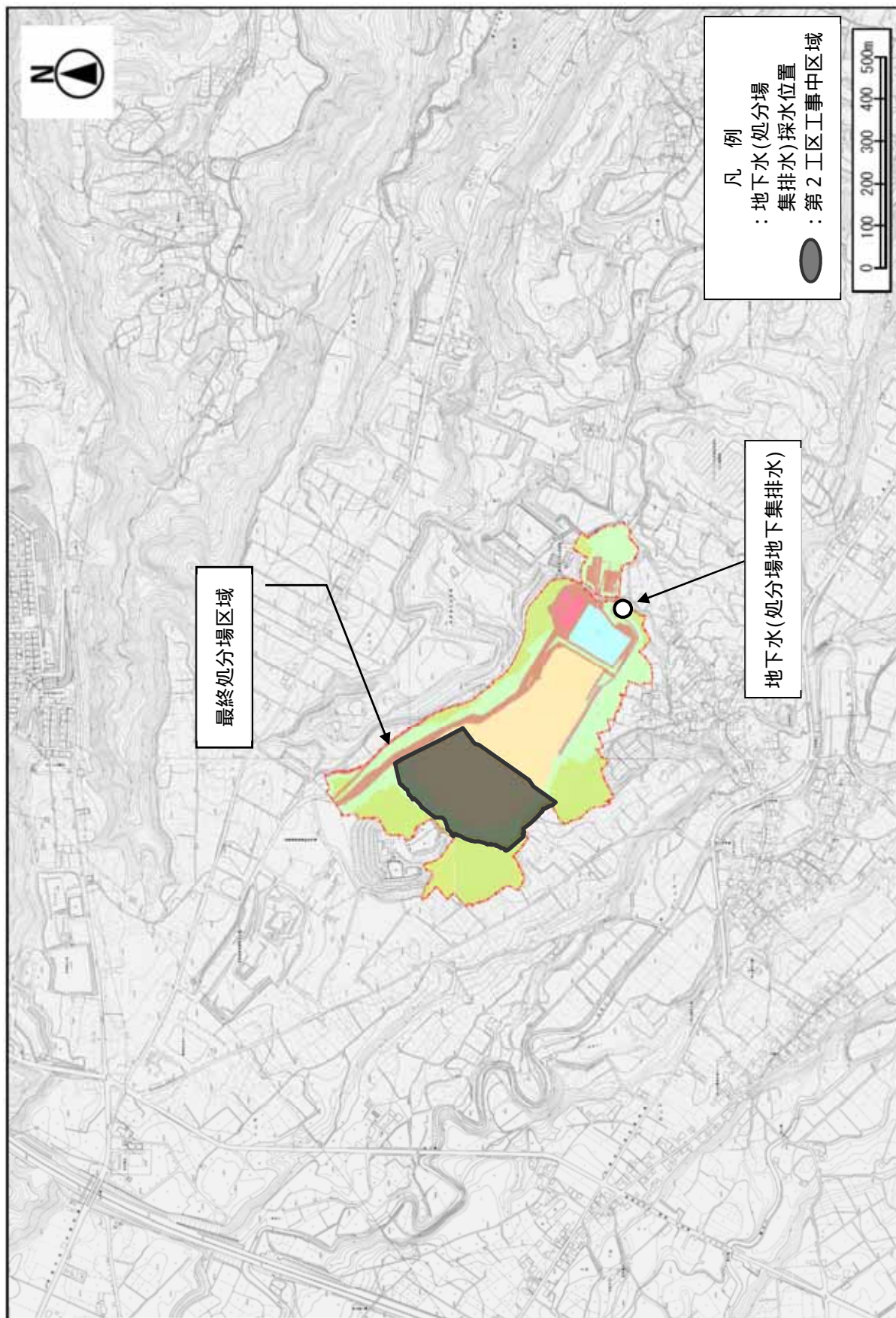


图 4 - 8 - 1 地下水（処分場地下集排水）調査地点

第2項 調査結果

調査の結果は表4 - 8 - 3に示すとおり、毎月実施することとした項目の電気伝導率は23～25mS/m、塩化物イオンは12～18mg/ℓ、1月に実施したその他の項目はいずれも定量下限値未満の値でした。

表4 - 8 - 3 (1) 地下水（処分場地下集排水）調査結果

項 目	単 位	4月16日	5月15日	6月4日	7月12日	8月7日	9月11日	環境基準値
電気伝導率	mS/m	25	24	25	25	25	25	-
塩化物イオン	mg/ℓ	14	15	12	18	17	18	-

表4 - 8 - 3 (2) 地下水（処分場地下集排水）調査結果

項 目	単 位	10月4日	11月5日	12月9日	1月16日	2月5日	3月4日	環境基準値
電気伝導率	mS/m	24	24	25	24	23	24	-
塩化物イオン	mg/ℓ	16	14	13	14	12	14	-
カドミウム	mg/ℓ	-	-	-	<0.0003	-	-	0.003
全シアン	mg/ℓ	-	-	-	検出せず (<0.1)	-	-	検出されないこと
鉛	mg/ℓ	-	-	-	<0.005	-	-	0.01
六価クロム	mg/ℓ	-	-	-	<0.02	-	-	0.05
砒 素	mg/ℓ	-	-	-	<0.005	-	-	0.01
総水銀	mg/ℓ	-	-	-	<0.0005	-	-	0.0005
アルキル水銀	mg/ℓ	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	-	検出されないこと
P C B	mg/ℓ	-	-	-	検出せず (<0.0005)	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.02
四塩化炭素	mg/ℓ	-	-	-	<0.0002	-	-	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/ℓ	-	-	-	<0.0002	-	-	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0004	-	-	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.1
1,2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.004	-	-	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0005	-	-	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0006	-	-	0.006
トリクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.03
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0005	-	-	0.01
1,3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0002	-	-	0.002
チウラム	mg/ℓ	-	-	-	<0.0006	-	-	0.006
シマジン	mg/ℓ	-	-	-	<0.0003	-	-	0.003
チオベンカルブ	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.02
ベンゼン	mg/ℓ	-	-	-	<0.001	-	-	0.01
セレン	mg/ℓ	-	-	-	<0.002	-	-	0.01
1,4-ジオキサン	mg/ℓ	-	-	-	<0.005	-	-	0.05

：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」(平成9年3月13日、環境庁告示第10号)